

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧

【文学部 日本文学科】学部固有科目 26単位

【文学部 言語表現学科】学部固有科目 26単位

【文学部 歴史文化学科】学部固有科目 22単位

履修可能学科

科目名	教員名	単位数	内容または授業概要	履修可能学科		
				日本文	言語表現	歴史文化
インターンシップ	佐藤 隆	2	インターンシップとは、学生が企業などにおいて実習・研修的な就業体験をする制度のことである。近年の産業構造の激しい変化によって就業実態も大きく異なっており、従来のイメージと現実との乖離や、学生の職業意識の未熟さなどから離職に繋がるケースも増えている。本科目はそういう現状への対応策のひとつとして設定されている。本科目は一定期間以上の就業に関する実習体験を行うもので、そのために本学キャリア支援課が設定する各種プログラム（各種ガイダンスなど）に出席する必要がある。	◎	◎	◎
短期海外研修	佐藤 隆	2	中京大学国際センターが主催する「海外短期研修」に参加し、終了することにより所定の単位を与える。ただし、セミナー終了後に文学部が独自に課するレポートを必須とし、これを提出しなかった者は単位を認定しない。外国での生活を体験することにより、外国語運用能力を向上させ、文化の理解を深める。	◎	◎	◎
広告の現場	長谷川 聡	2	【株式会社三見社 取締役】 広告代理店勤務経験のある教員が、実際の広告事例を見ながら、クライアント(広告主)からの広告発注、広告媒体(テレビ・ラジオ・新聞など)の規制を遵守しながらターゲットへどのようなアプローチをしているかを解説する。	○	◎	○
仕事のコミュニケーション	金子 勝	2	【株式会社三見社コミュニケーションデザイン 取締役】 広告代理店勤務経験のある教員が、多くの企業に接する広告代理業の視点から実際に行われるコミュニケーションを解説し、企業内、及び企業対企業プレゼンテーションの根本とは何かを体感する授業を通じて、学生の就業意識向上を目指す。	◎	◎	◎
会話技術論 I	早川 敦子	2	【元テレビ静岡アナウンサー 現フリーアナウンサー】 現役フリーアナウンサーの教員が、話し言葉としての日本語の特徴や効果的に伝える技術を解説し、「会話」に必要なスキルや心構えを学ぶ。	◎	◎	
会話技術論 II	早川 敦子	2	【元テレビ静岡アナウンサー 現フリーアナウンサー】 現役フリーアナウンサーの教員が、話し言葉としての日本語の特徴や効果的に伝える技術を解説し、「会話」に必要なスキルや心構えを学ぶ。	◎	◎	
実践話術	青山 紀子	2	【元名古屋テレビ・東海ラジオ放送アナウンサー 現フリーアナウンサー】 現役フリーアナウンサーの教員が、自分の思いを、きちんと相手に伝え、円滑なコミュニケーションを図るための演習を行う。発声の基本から伝えるためのコツ、美しい日本語などを学び、自分らしい「伝えるための話し方」を伝授する。	○	◎	○
地域と歴史文化情報	三島 一信	2	【安城市歴史博物館 学芸員】 現役学芸員が、博物館における物の分析による情報の作成、情報の収集や、編集方法、情報管理の基本を解説する。特に博物館資料情報の作成などの習得を目指す。	◎	◎	◎
書道 II	上小倉 一志	2	【書家】 さまざまな用筆法・結構法を解説する。多くの表現ができるような技術や知識を身につけることで、多様な書表現を展開することができる。	◎	◎	◎
創作 I	小島 環	2	【小説家】 小説現代長編新人賞の受賞経験がある教員が、小説についての基本的な知識を解説するとともに、実際に作品を書き、また他の人が書いた作品を批評的に読解する力を身に付けさせる。	○	◎	○
創作 II	小島 環	2	【小説家】 小説現代長編新人賞の受賞経験がある教員が、小説についての基本的な知識を解説するとともに、実際に作品を書き、また他の人が書いた作品を批評的に読解する力を身に付けさせる。	○	◎	○
有職故実	並木 昌史	2	【徳川美術館 学芸員】 現役学芸員が、古記録や遺品、絵画資料などを教材に用いながら、有職故実について解説する。	◎	○	◎

広告制作	西嶋 頼親	2	【元電通】 コピーライター経験者の教員が、表現技法やアイデア発想法を解説し、演習形式で実際にコピーやラジオコマーシャルなどを制作する。	○	◎	○
------	-------	---	--	---	---	---

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧

【心理学部 心理学科】学部固有合計 38単位

科目名	教員名	単位数	内容または授業概要
インターンシップ	神谷 栄治	2	インターンシップとは、学生が企業などにおいて実習・研修的な就業体験をする制度のことである。近年の産業構造の激しい変化によって就業実態も大きく異なっており、従来のイメージと現実との乖離や、学生の職業意識の未熟さなどから離職に繋がるケースも増えている。本科目はそういう現状への対応策のひとつとして設定されている。本科目は一定期間以上の就業に関する実習体験を行うもので、そのために本学キャリア支援課が設定する各種プログラム（インターンシップガイダンスなど）に出席する必要がある。インターンシップ（就業体験）後は、報告書及び参加証明書を提出し、科目担当教員の審査を受けなければならない。
認知行動療法	坂井 誠	2	心理療法の三大学派の一つである認知行動療法について概説する。認知行動療法とは、クライアントの問題を具体的に把握し、その変容に向けて認知・行動理論を援用する、エビデンスの高い心理療法である。本講義では、大学病院精神科での臨床心理士としての勤務経験を有する教員が、まず認知行動療法の特徴、治療法、技法について講義し、次に不安症などの病院臨床領域での諸問題、ならびに発達障害など教育臨床領域での諸問題について講義する。受講生のメンタルヘルス向上のための、セルフヘルプの技法も複数紹介する。
心理学と倫理	坂井 誠	2	大学病院精神科での臨床心理士としての勤務経験を有する教員が、臨床心理、ならびに生命倫理に関するテーマを取り上げ、臨床倫理を学ぶ授業を行う。架空事例を使ったグループディスカッション、メンタルヘルスに関する体験学習も実施する。
キャリア形成	坂井 誠	2	心理学部での学びを社会で生かすという視点に立ち、①自分自身のキャリアをデザインし、②社会で働くことの意義を認識し、③有意義な学生生活を送ることができるようになることを目的とする。公務員や民間企業、あるいは公認心理師・臨床心理士の職務内容を考えることを通して、社会で活躍できる人材の育成を目指す。心理学部教員、キャリア支援課職員、学外講師による講義、さらには学部4年生、大学院生、社会人による体験談を聞きながら、就職活動に必要な力を身に付けるとともに、これからの学生生活をどのように送るかを、受講者自身が考えていく機会を提供する。
臨床心理面接法	馬場 史津	2	心理学的支援法の科目である。代表的な心理療法を概観し、適応と限界について紹介する。精神科クリニックでの臨床心理士としての勤務経験を有する教員が、心理学的な支援としての面接について、プライバシーへの配慮や、面接者と心理的支援を要する人の良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法について具体的に解説する。講義の終盤には、面接の実際として、初回面接の映像資料を用いたり、公開されている事例を読むことで心理面接のプロセスを理解することも目的としている。実践的な面接を学びたいとの希望があるが、この科目は理論や概要を学ぶ講義科目であり、いわゆる実習は行わない。
心理アセスメント実習 1	山本竜也	2	本講義では、精神科クリニックでの臨床心理士としての勤務経験を有する教員が、一般的な心理アセスメントの目的や倫理などについて解説し、そのうえで、臨床の現場で使用する頻度が高い知能検査、人格検査、神経心理学的検査を取り上げ、それらの実施法、結果の分析と解釈の方法等について講義、及び、実習を行う。この講義を通し、臨床心理学におけるアセスメントの意義や目的、着眼点、展開などを理解し、基礎的・代表的な心理検査についてよく知り、適切な記録、及び、報告書の作成ができることを目的とする。
心理アセスメント実習 2	馬場／坂井／永田／神谷／明旻	2	精神科クリニックでの臨床心理士としての勤務経験を有する教員による、臨床現場で利用頻度の高い検査について実習する。主に個人法の心理検査を取り上げる。知能検査や人格検査について検査の実施法、結果の整理、解釈法について実習し、レポートを作成する。
パーソナリティ心理学 (感情・人格心理学)	神谷 栄治	2	精神科クリニックでの臨床心理士としての勤務経験を有する教員による、性格・パーソナリティについて、精神医学的・臨床心理学的観点から検討していく授業である。パーソナリティとは行動の個人差に関する概念だが、この概念について、発達の観点・臨床心理学的観点・精神医学的観点から、検討していく。学際的な領域なので、あつかう情報量が多いため、主に講義形式で行う。

青年期臨床心理学	永田 法子	2	ライフサイクルの中で、青年期の占める位置、心理的特徴、発達の課題について概説し、そこから生じるさまざまな危機や問題について、臨床心理学的な視点から考える。また、公立小中学校でのスクールカウンセラーとしての勤務経験を有する教員が、いじめ、不登校など、教育現場において生じる臨床心理学的諸問題について取り上げ、現状、背景を適切に理解し、必要な支援について学ぶことができるようにする。
障害者・障害児心理学	明翫 光宜	2	本講義では、発達支援のNPO法人での勤務経験を有する教員が、障害児・者の認知心理学・精神病理・体験世界について近年の研究知見をもとに解説を行う。具体的には、身体障害、精神障害、知的能力障害、限局性学習障害、注意欠如多動性障害、自閉症スペクトラム障害について取り上げる。併せて各障害の心理社会的課題および必要な支援においても解説していく。
精神保健学	山本 竜也	2	精神保健学とは、文字通り精神面における健康を保つことに関する学問である。そこには精神面になんらかの問題を持ってしまった人への援助も含まれるが、それ以上に予防が重要視される。そこで、本講義では精神科クリニックでの臨床心理士としての勤務経験を有する教員の元、精神保健の基礎知識を習得するとともに、ストレス理論や行動理論・認知理論を取り上げ、一般的なストレスと心身の疾病との関係について学ぶ。また、保健活動が行われている現場における心理社会的課題及び必要な支援について学ぶ。さらに、医療現場における心理社会的課題及び必要な支援についても概説する。各ライフステージにおける精神保健上の問題および、各生活状況で生じる精神保健上の問題（災害時等に必要心理に関する支援を含む）について紹介し、その予防・援助方法について学ぶ。
福祉心理学	宮地 菜穂子	2	本講義では、社会福祉の中でも特に子どもとその家族に焦点化しながら心理学を人々の福祉に効果的に活用していくために必要となる基礎知識の修得を目指していく。具体的には、児童養護施設指導員としての勤務経験を有する教員が、子どもと家族を取り巻く社会的・歴史的背景や、法体系、児童福祉施設の役割などの基礎知識について概説する。さらに子どもと家族の福祉に関わる心理職として必要となる視点や知識を身に付け、支援技術について理解するために、現場の実践事例や文献、新聞記事、映像などを教材として取り入れつつ、学生の立場に引き寄せて考え、子ども家庭福祉についてのマクロとミクロな視点の両面から捉えていけるよう解説していく。
人体の構造と機能及び疾病	飛田／道川／鄭／澤本／高橋／酒々井／鄒	2	ヒトの心を理解するためには、人体の正常なかたち（構造）としくみ（機能）を理解し、さらにはその正常状態が崩れた病的状態を理解することも重要である。本講義は、医師としての勤務経験を有し、医学研究を専門とする名古屋市立大学の講師陣によるオムニバス講義によって、始めにヒトの生理的な構造と仕組みの概略を理解したのち、ヒトの病気時の構造変化と癌の発症メカニズムの概略を理解し、さらには病気発症における遺伝子・環境の影響、生活習慣病／認知症の病気の理解を目指す。病気により心を悩ませる人々に対する、より深い理解へと繋げていくことを最終目的とする。
司法・犯罪心理学	市村 彰	2	本講義では、行政主体の心理相談室相談員としての勤務経験を有する教員が、非行や犯罪を表面的に捉えるのではなく、心理臨床・社会的な視点から真相や背景要因について理解し、更生・立直りの支援に役立つ基本的な知識・技術等について解説する。前半では、我が国における非行・犯罪行為の現状と少年事件を中心とした司法手続きについて解説する。中盤は、非行・犯罪行為の原因論、事例理解の方法、被害者支援及び加害者家族の現状について解説する。終盤は、特徴的な事件、裁判上の問題、少年・犯罪者の処遇について解説する。
カウンセリング基礎実習	野副 紫をん	2	カウンセリングは心理支援の一つの技法であり、同時に相手を理解しコミュニケーションを円滑に進めるための有用な対人スキルでもある。本授業では、私立大学学生相談室でのスクールカウンセラーとしての勤務経験を有する教員の元、心理支援の基本(クライアントの見立て・支援方針や支援形態・守秘義務等の職業倫理等)やコミュニケーションスキルに関する講義・ワークとともに、カウンセリング場面のロールプレイ実習を行う。これにより、カウンセリングの基本的技法を体験的に学ぶとともに、日常の人間関係に役立つコミュニケーションスキルや受容的・共感的態度を身につけることを目指す。特に「マイクロカウンセリング」という心理面接の学習法を用い、自分のカウンセラー役を臨床心理の専門的な視点から詳細に検討する。
	立川 知美		カウンセリングは対人支援の一つである。本講義では日常生活にも役立つカウンセリングマインドを身につけ、心理に関する支援を要する者等の理解とニーズを把握した支援を考えられることを目的とする。また支援に際し必要に応じた多職種連携および地域連携も円滑にできるように、私立大学臨床心理相談室でのカウンセラーとしての勤務経験を有する教員の元、カウンセリング理論のほかに対人コミュニケーションの理論も交えた講義と練習を行う。

照明・色彩心理学	大内 啓子	2	色彩関係研究所研究員が、色彩学の基礎から応用まで幅広く紹介する。また、色紙を用いた演習（知覚効果）や、各種照明光源を用いた色の見え方など、体験を通じて理解を深める。色彩検定にも対応させるため、授業内で色彩士検定等の過去問題を実施する。色彩・照明が及ぼす生理的および心理的影響や、知覚効果、カラーユニバーサルデザインの考え方などを習得し、色覚の多様性や色彩に関する見識を深めることを目的とする。最終的には、色彩検定2・3級に合格可能なレベル到達を目指す。
精神医学 (精神疾患とその治療)	若松 亜矢 高木 友徳	2	本講義は、民間心理相談所での勤務経験を有する2名の教員の元、精神医学について学ぶ。具体的には、講義前半では、精神医学と臨床心理学の関係、向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化等の精神疾患の総論的内容について概説する。その後各論として、統合失調症や気分障害など、主としてかつて内因性精神障害と位置付けられた（DSM-4ではI軸に分類されていた）疾患について、具体的な症例を提示し、実際どのような臨床像なのか理解し、精神医療の現場においてどのような心理社会的アプローチ、各社会資源と医療機関の連携が図られているかを学習する。後半では、II軸に分類されていたパーソナリティ障害群を含めた各論の続きと、主な睡眠疾患、職場のメンタルヘルスケアについて概説し、理解を深める。
公認心理師の職責	高橋 亜希	2	本講義では、私立大学学生相談室でのカウンセラーとしての勤務経験を有する教員の元、公認心理師にも求められる役割、倫理、法的義務、クライアントとのかかわり方などについて総合的に学習を行う。公認心理士が行う様々な領域での業務について事例などを参考にしながら具体的に理解できることを目的とする。
認知神経科学	近藤 洋史	2	人間のコミュニケーションの基盤である知覚および認知機能を支える脳の働きについて深く理解する。このとき、情報通信に関わる研究所での勤務経験を活かして、脳とコンピュータにおける情報処理の類似点と相違点を解説する。

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧

【法学部 法律学科】学部固有科目 44単位

科目名	教員名	単位数	内容または授業概要
法実践講義Ⅰ－２	高井 克明	2	この授業は、概して机上のみで語られがちな国際関係論（International Relations：IR）を実践的に捉える上で必要不可欠な具体的事例である日本の開発援助、地球環境及び平和構築政策を考察するきっかけを持つことを目的とします。従って、現在国際社会で起こっている喫緊の課題を取り上げ、理論、事例の紹介および演習を通して理解を深めていきます。講義の中では、講師が研究・実務の経験で関わった国際会議、研修セミナーなどを紹介し、本講義と関連して受講生が社会人となって遭遇すると思われることについて主体的に考える契機となるよう工夫します。
法実践講義Ⅰ－３	伊豆 芳人	2	日本は観光立国政策を推進しています。観光立国政策は日本が20世紀末から直面している課題をも解決すると期待されています。その課題とはバブル崩壊後の長期化する経済低迷、世界で最も深刻化している少子高齢化、地方衰退です。観光産業（ツーリズム）には果たしてそのような力、可能性があるのでしょうか？2003年から本格的に始まった観光立国政策を検証し、前記課題の解決進捗状況を検証します。また観光産業はすそ野が広い産業（波及効果が大い）ですが、その中で中心的な業種である航空産業・旅行産業についてその役割・産業として課題を検証し将来性を推論します。旅行業法及び関連法規については理解が深まるよう、グローバルなインターネット取引、民泊、地域活性化などの実態と対比して講義します。 地方自治体の観光振興については愛知県東海市へのフィールドワークを行い、愛知県下の自治体の取組みを通して、観光産業（ツーリズム）による地方創生の実情を紹介し、観光産業（ツーリズム）でのマーケティングの手法を教授します。40年近い観光産業（ツーリズム）での経験に基づき実例を多数交えた授業にする予定です。
法実践講義Ⅱ－２	藤村 修	2	企業活動、特に製造業において技術、デザイン、ブランドの知的財産の保護、管理は重要な項目である。そしてこれらは、知的財産権法のうち、特許法/実用新案法（技術の保護）、意匠法（デザインの保護）、商標法（ブランドの保護）、関連する条約類が関係する。製造業における知的財産管理の実務と、関係する知的財産権法を概説する。
法実践演習Ⅱ－２	丸本 良之	2	生活の様々な局面で関わりあう生命保険の仕組みや役割を知ることにより、これからの持続可能な社会を営んでいく上で役に立つ知識の習得を目指す。 当講座では、「生命保険の基礎的な知識」から「生命保険の果たす役割」、「生命保険契約のしくみ」、「保険会社の組織と業務」など、社会保障問題を背景に今後一層高まるであろう生命保険、さらに生命保険会社の組織や基本的な業務について幅広く学習する。生命保険契約における保険料の算出根拠や死亡保障における必要保障額の算出等、実践的な作業も行う。
インターンシップ	大原 寛史	2	インターンシップとは、学生が企業などにおいて実習・研修的な就業体験をする制度のことである。近年の産業構造の激しい変化によって就業実態も大きく異なっており、従来のイメージと現実との乖離や、学生の職業意識の未熟さなどから離職に繋がるケースも増えている。本科目はそういう現状への対応策のひとつとして設定されている。本科目は一定期間以上の就業に関する実習体験を行うもので、そのために本学キャリア支援課が設定する各種プログラム（各種ガイダンスなど）に出席する必要がある。インターンシップ（就業体験）後は、報告書及び参加証明書を提出し、科目担当教員の審査を受けなければならない。
短期海外演習	張 栄紅	2	中京大学国際センター企画・主催の海外セミナーに参加した法学部生について、レポート（日本語で可）提出により、所定の単位を付与する。 【研修例】 ニューヨークビジネス研修：午前は語学学校で英語を学び、午後はサービス業や金融業等、幅広い業界の有名企業を訪問します。グローバル企業の海外オフィスを訪問し、ビジネスの現場を体感します。日本と海外の働き方の違いや異文化マネジメントの重要性等、新たな知見を蓄積し、グローバル意識を高めるための研修です。 台湾インターンシップ：「地球の歩き方」の旅のコラムニストとして、取材や記事制作に関連する一連の業務を学びます。事前研修では、旅行業界に関する基礎知識講座と旅コラムニスト講座を受講。現地では現地旅行会社の業務、コラム記事取材を体験。フォローアップ研修では、実際にコラム制作を行います。
法実践演習Ⅰ－１	古賀 照平 ／濱崎 智江	2	この授業では、私たちの日常生活と密接に関連する民法について実務家である弁護士とともに学習する。とりわけ、民法の判例の検討を通じて、法律がどのように生かされているのかにつき、ディスカッションを行いながら実践的に検討する。
租税法 A	渡邊 利明	2	税負担が増大傾向にある現代社会においては、日常生活は租税と密接な関係を持たざるを得ない。また、我が国においては人口減少や高齢社会の進行、グローバル化の進展など、社会・経済の構造が変化の中で、それらに適した税制の構築を課題として、制度改革の努力が続けられている。そのような中で税法に関する正確な知識は社会生活をおくる上で重要な知識の一つといえる。そこで、本講義では租税に関する正確な知識を得ることを目的として、租税法の基礎知識に加えて、主要な租税の法的構造を学習する。 また、租税法に関する具体的な事例や実務界でおきている現象を交えて、租税が実際の社会構造と深くかかわっていることを認識し、主要な租税における課税要件の把握、租税法規の解釈・適用、および簡単な税額計算についての理解力を養うことにより、租税の原則について説明ができるようになることを目指す。
租税法 B	渡邊 利明	2	現代社会においては、租税は日常生活に深く関わるものであり、企業や個人は租税を考慮することなく様々な意思決定をすることは不可能といえる。したがって、現代社会において租税法の学習は重要なものと位置づけられる。しかし、法学部の学生にとって租税法の学習は税額の計算方法等が中心となる課題と誤解されることから、なじみ難いというイメージが抱かれやすい。本講義は租税の税額計算の仕方を学ぶのではなく、各種の租税について、基本的な考え方や課税要件の仕組みを学ぶことを目的とする。また、現在の社会・経済が一層のグローバル化をみせる中において、国際税務の分野を概括し、この分野における課題を把握することも目的とする。 判例を用い日常生活に根ざした身近なテーマを素材として、所得税法・消費税法・相続税法を中心に、個々の租税現象について租税法の基礎的な考え方を理解し、理論的な検討を行うことによって、租税に関する討議ができるようになることを目指す。
民事訴訟法Ⅰ A	河合 伸彦	2	春期、秋期を通じて、民事訴訟法（民事裁判）のうち、特に、判決手続の部分を講義します。 訴訟の提起から、訴訟の進み方、判決までの一連の流れを勉強します。 春学期は、訴訟手続の総則、訴訟提起（開始）から、訴訟手続の前半場面について講義します。 実務家の講義として、理論面だけでなく、実際の実務における経験を踏まえた講義を目指しています。

民事訴訟法ⅠB	河合 伸彦	2	<p>春期に引き続いて、民事訴訟法（民事裁判）のうち、特に、判決手続の部分を講義します。</p> <p>民事訴訟の大原則である弁論主義をはじめ、裁判の要である証拠調べ手続、訴訟の決着をつける判決についてなど、民事訴訟（民事裁判）の中心的な分野について講義します。</p> <p>実務家の講義として、理論面だけでなく、実際の実務における経験を踏まえた講義を目指しています。</p>
法実践講義Ⅱ-1	古川 浩司	2	<p>この授業は、概して机上のみで語られがちな国際関係論（International Relations：IR）を実践的に捉える上で必要不可欠な具体的事例である日本の人権外交、多文化共生及び難民支援を考察するきっかけを持つことを目的とする。なお、ここで言う「外交」とは、狭義の国家（中央政府）間で行う活動のみならず、非国家アクターである地方自治体や非政府組織をはじめとする「市民」の活動も対象とする。</p> <p>以上の趣旨より、本授業は「理論と実践の両立」の観点から、15回の講義のうち11回は、国家公務員、地方公務員、NGO職員及び弁護士を講師として招き、現場の生の声を履修生に伝える。</p>
法実践演習Ⅰ-2	古川 浩司	2	<p>この授業は、概して机上のみで語られがちな国際関係論（International Relations：IR）を実践的に捉える上で必要不可欠な具体的事例である日本の危機管理及び国際平和協力を考察するきっかけを持つことを目的とする。</p> <p>以上の趣旨より、本授業は「理論と実践の両立」の観点から、15回の講義のうち11回は、国家公務員、弁護士、コンサルタントなどを講師として招き、現場の生の声を履修生に伝える。</p>
刑法ⅡA	中川 由賀	2	<p>この授業では、刑法各論（個人的法益に対する罪のうち財産以外に対する罪、社会的法益に対する罪）について学習します。担当教員は、刑事事件に関する実務経験（検事として捜査公判、弁護士として弁護活動）を有しており、豊富な実務経験を反映した授業を行います。</p>
刑法ⅡB	中川 由賀	2	<p>この授業では、刑法各論（個人的法益に対する罪のうち財産に対する罪、社会的法益に対する罪）について学習します。担当教員は、刑事事件に関する実務経験（検事として捜査公判、弁護士として弁護活動）を有しており、豊富な実務経験を反映した授業を行います。</p>
入門演習	中川 由賀	4	<p>この入門演習では、法律問題を題材として「正解の用意されていない問題を解決するためのインプット・アウトプットのスキル」を身につける機会を皆さんに提供したいと思います。大学・社会においては、わかりやすい正解がない問題に対する答えを見つけるための能力が必要とされます。また、インプットの能力だけでなく、アウトプットの能力も重要になります。担当教員は、公務員（検事）、教員（大学教授）、民間企業役員（商社）、行政委員（選挙管理委員）としての実務経験を有し、これら複数組織での勤務経験を基に、学生が将来どのような進路を選んでも共通して要求されるスキルを身につけるためのサポートをします。</p>
	高木 道久		<p>社会で実際に発生している様々な法的紛争を法的に解決するには、正確で豊富な法的知識、論理的で柔軟な法的思考力及び一義的で説得的な法的表現力が必要です。事実を確定して問題の所在を明らかにした上で、法的知識を基に条文の文言を趣旨から考えて解釈し、その解釈を事実に当てはめて最も妥当な結論を導くと共に、結論に至った思考の過程を相手方を始めとする関係者を納得させられるように表現することが大切です。</p> <p>担当教員は、現役の弁護士として企業法務や民事裁判実務に携わり乍ら本学法科大学院で民法や民事弁護実務系科目を担当してきた実務家専任教員ですから、本演習では、民法という法律を題材として、様々な職業人と協働して法的紛争を適正且つ妥当に解決するという担当教員の実務的経験をも反映させつつ、履修生が今後様々な法律専門科目で具体的な法的知識、法的思考力及び法的表現力を身につけるための橋渡しとしてのイメージ作りをしたいと考えています。</p> <p>なお、本演習では、各セメスターを通じ、個別のテーマ毎の導入的な授業では講義的な色彩が多くなりますものの、原則として、履修生を少人数にグループ分けした後に、グループ毎もしくは個別の報告者による報告とそれを基にした履修生全員での議論によって進行させる予定です。</p>
	福本 博之		<p>「弁護士」という実務職に携わってきたことから、「法律相談」「依頼者との協議・打ち合わせ（信頼関係の構築）」「相手方との交渉」「裁判・調停その他の紛争解決手続の実践」といった様々な実務経験をこの授業に反映させ、社会において発生する様々な紛争（民事・刑事）に対して、司法はどのような役割や機能を果たしているのか、そこにおける問題点があるとすれば、どのようなことか。どのような改善方法が考えられるか、など、実社会における司法の役割全般について、法学の入門編として各自に主体的に取り組んでもらうことを目標とする。</p>
基本演習	中川 由賀	4	<p>プレゼンテーション・ディスカッション能力は、社会人として必須のスキルです。</p> <p>これらのスキルを身につけるためには、アウトプットの機会をより多く持つことが必要です。</p> <p>そこで、この演習では、刑事法関連問題を題材として、プレゼンテーション及びディスカッションを行い、学生の皆さんにアウトプットの機会を提供したいと思います。</p> <p>また、アウトプットのためには、その前提としてインプットのためのスキルが身につけていることが必要です。</p> <p>そこで、この演習では、適宜、インプットのためのスキルについても学んでいけるようにします。</p> <p>担当教員は、公務員（検事）、教員（大学教授）、民間企業役員（商社）、行政委員（選挙管理委員）としての実務経験を有し、これら複数組織での勤務経験を基に、学生が将来どのような進路を選んでも共通して要求されるスキルを身につけるためのサポートをします。</p>
	高木 道久		<p>「働き方改革」によるワークライフバランスの実現と働く人の健康の保持は国を挙げての喫緊の課題であり、平成30年7月6日に公布された働き方改革推進法に基づく労働基準法や労働契約法を始めとする労働関係諸法の改正も平成31年4月1日から順次施行されます。他方、「過労死」という日本語が欧米でも「karoshi」と呼ばれ、働く人の健康問題が、労働災害として認定され若しくは裁判所によって使用者に高額な損害賠償が命じられる場合も少なくないという現実があります。</p> <p>担当教員は、現役の弁護士として企業法務や民事裁判実務に携わり乍ら本学法科大学院で民法や民事弁護実務系科目を担当してきた実務家専任教員ですから、本演習では、労災行政訴訟や労災民事訴訟に関する担当教員の実務的経験をも反映させつつ、働く人の心身の健康に関する労災行政訴訟や労災民事訴訟に関する判例の分析により、企業が働く人の心身の健康に対する安全配慮義務を負担する理由とその具体的内容を理解した上で、経済産業省や経団連が推進している企業の「健康経営」という考え方の基本を理解することにより、法的な思考方法を会得して活用できる基礎を形成することを目的とします。</p> <p>なお、本演習では、各セメスターを通じ、個別のテーマ毎の導入的な授業では講義的な色彩が多くなりますものの、原則として、履修生を少人数にグループ分けした後に、グループ毎もしくは個別の報告者と問題提起及びそれを基にした履修生全員での議論によって進行させる予定です。</p>

	福本 博之		<p>私（弁護士）の法律事務所には、今までのいろいろな法的トラブルが持ち込まれてきました。刑事事件や会社の取引関係、貸金や負債関係、親子や夫婦関係、相続、交通事故、境界争い、消費者被害、不動産取引など。</p> <p>このゼミナールでは、そういった様々なトラブルのうち、我々の身近に起こり得るものを題材として、事前に皆さんに提示します。皆さんだったら、これらのトラブルをどういう理由に基づいて、どのように解決しますか（あるいは、どのような解決が望ましいと考えますか）？これを皆で議論しながら考えてみましょう。もちろん、その理由としての法的な根拠（条文や判例など）も検討しなければなりません。</p> <p>具体的な事案と解決法を考えながら、自然に、皆さんが民法の基本的知識や考え方、さらには実際の裁判などではどのようにしているのか、などを学んでいくことを目的とします。</p>
キャリア形成の基礎	土井 崇弘	2	<p>社会の第一線で活躍中のさまざまな社会人、難関公務員や有力民間企業に内定を勝ち取った法学部4年生の先輩たち、手厚い就職支援体制を運営している本学職員の【話を聴き】【提供資料を読んだ】うえで、自分なりにしっかりと考えて、ショートコメント・行動計画表・レポートを【書いてもらったり】、受講生間であるいは授業担当者に対して【発言してもらったり】します。</p>
民事訴訟法ⅡA	稲葉 一人	2	<p>民事訴訟法と、民事保全手続、執行手続、倒産手続、家事手続を有機的・連動的に学ぶ。民事訴訟法Ⅰで学んだ知識を生かそう。（応用知識）</p> <p>いくつかの民事訴訟を例にして、保全の段階、訴訟の段階、執行の段階でどのような問題が（具体的に）起き、それがどのように手続上扱われるかを検討していく。（法学的思考）</p> <p>更に、それぞれを比較することで、より、中核的な民事訴訟法の手続が理解できる。（課題の発見・解決）</p>
民事訴訟法ⅡB	稲葉 一人	2	<p>民事訴訟法と、民事保全手続、執行手続、倒産手続、家事手続を有機的・連動的に学ぶ。民事訴訟法Ⅰで学んだ知識を生かそう（応用知識）</p> <p>いくつかの民事訴訟を例にして、保全の段階、訴訟の段階、執行の段階でどのような問題が（具体的に）起き、それがどのように手続上扱われるかを検討していく。（法学的思考）</p> <p>更に、それぞれを比較することで、より、中核的な民事訴訟法の手続が理解できる。（課題の発見・解決）</p>

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧

【経済学部 経済学科】学部固有 24単位

科目名	教員名	単位数	内容または授業概要
インターンシップⅠ	釜田 公良	2	インターンシップとは、学生が企業などにおいて実習・研修的な就業体験をする制度のことである。近年の産業構造の激しい変化によって就業実態も大きく異なっており、従来のイメージと現実との乖離や、学生の職業意識の未熟さなどから離職に繋がるケースも増えている。本科目はそういう現状への対応策のひとつとして設定されている。本科目は一定期間以上の就業に関する実習体験を行うもので、そのために本学キャリア支援課が設定する各種プログラム（インターンシップガイダンスなど）に出席する必要がある。
インターンシップⅡ	釜田 公良	2	8月下旬～9月上旬（ベトナム、香港、台湾）または2月上旬～中旬（シンガポール、タイ）にかけて行われる約2週間の海外インターンシップ研修である。なお、授業計画は例示であるため、実際の研修とは異なる場合がある。
インターンシップⅢ	釜田 公良	2	8月下旬～9月上旬（ベトナム、香港、台湾）または2月上旬～中旬（シンガポール、タイ）にかけて行われる約2週間の海外インターンシップ研修である。なお、授業計画は例示であるため、実際の研修とは異なる場合がある。
海外ビジネス英語研修Ⅰ	釜田 公良	2	経済のグローバル化・ボーダーレス化が進む現在、専門的な知識だけでなく、国際感覚をもった人材が求められている。本科目では、8月下旬～9月上旬（オーストラリアあるいはマレーシア）または3月上旬～中旬（アメリカあるいはフィリピン）にかけて実践的なビジネス英語講座、現地企業視察、現地企業のトップ経営者による講演等を含めた約2週間の海外ビジネス研修として実施し、単位を認定する。なお、授業計画は例示であるため、実際の研修とは異なる場合がある。
海外ビジネス英語研修Ⅱ	釜田 公良	2	経済のグローバル化・ボーダーレス化が進む現在、専門的な知識だけでなく、国際感覚をもった人材が求められている。本科目では、8月下旬～9月上旬（オーストラリア・マレーシア）または3月上旬～中旬（アメリカ・フィリピン）にかけて実践的なビジネス英語講座、現地企業視察、現地企業のトップ経営者による講演等を含めた約2週間の海外ビジネス研修として実施し、単位を認定する。なお、授業計画は例示であるため、実際の研修とは異なる場合がある。
税法	加藤 厚	2	税理士の資格と持ち、今現在税理士事務所を経営している講師が税法についての講義を行う。単なる卓上の理論のみならず、より具体的な、実社会に出て役立つ内容の講座を行うことにより、一般社会で対応可能な税の知識を身につけてもらうことを目指す。
経済特殊講義Ⅰ	平澤 誠	2	財務本省及び東海財務局などの現役財務省職員が講師として登壇し、財務省・金融庁の視点から「財政」「税制」「経済分析」「金融」等についての講義を行う。
経済特殊講義Ⅲ	平澤 誠	2	中日新聞社編集幹部や新聞記者らが講師として登壇し、事件・災害・政治・経済・スポーツ・文化といった報道の現場で実際に起きていることや、考えていることを語る。15回の講義を通じて新聞の役割を理解し、情報を判断する力や物事を考える力を培う。
データから見た経済	増田 淳矢	2	三菱総合研究所で金融機関における統計分析等の実務経験を持つ担当者が、統計データを利用してさまざまな経済事象を理解する方法を解説する。受講者は経済データをグラフ等で視覚的に把握して、現在の日本や世界の経済に把握することや、経営や政策に関わるデータの分析方法を知ることにより、活きた知識を学ぶことができる。
統計学の基礎	増田 淳矢	2	三菱総合研究所で金融機関における統計分析等の実務経験を持つ担当者が、政策や経営管理などのデータを例にして、記述統計等の統計分析の手法を解説する。受講者は政策評価や経営管理・マーケティングなどで実際に使える、統計分析に関する活きた知識を学ぶことができる。

統計学	増田 淳矢	2	三菱総合研究所で金融機関における統計分析等の実務経験を持つ担当者が、政策や経営管理などのデータを例にして、推測統計等の統計分析の手法を解説する。受講者は政策評価や経営管理・マーケティングなどで実際に使える、統計分析に関する活きた知識を学ぶことができる。
歴史II	近藤健児	2	高校の教育現場で教員としての実務経験を持つ担当者が、教職課程の学生を対象に、各国別の通史やテーマ史に関する講義を行う。教科書を再構成して断片的だった知識を再構築した上で、教材提示の方法、明快な講義法、問題作成のノウハウの習得をも目標とした、実際の教育現場で通用する歴史を学ぶ。

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧

【経営学部 経営学科】学部固有科目合計 42単位

科目名	教員名	単位数	内容または授業概要
簿記入門Ⅰ	吉田 康英	2	銀行の企画・主計部門で勤務経験があり、日本及び米国公認会計士でもある教員が、その経験を活かして、企業が行う取引の内容、その記録の仕方である簿記一巡の手続を講義する。
簿記入門Ⅱ	吉田 康英	2	銀行の企画・主計部門で勤務経験があり、日本及び米国公認会計士でもある教員が、その経験を活かして、企業が行う取引の内容、その記録の仕方である簿記一巡の手続を講義する。
財務会計Ⅰ	吉田 康英	2	銀行の企画・主計部門で勤務経験があり、日本及び米国公認会計士でもある教員が、その経験を活かして、財務会計を支える理論と実務の関係性を講義する。
財務会計Ⅱ	吉田 康英	2	銀行の企画・主計部門で勤務経験があり、日本及び米国公認会計士でもある教員が、その経験を活かして、日本基準による会計処理及び国際会計基準との異同点を講義する。
中小企業論	寺岡 寛	2	中小企業政策官庁での経験を生かして、中小企業の分析方法を講義。
ベンチャー企業論	寺岡 寛	2	中小企業政策官庁での政策立案経験を生かした講義。
スモールビジネス未来論	寺岡 寛	2	中小企業政策官庁での経験を生かした現状分析を提示。
サプライチェーンマネジメントと I E の基礎	渡辺 丈洋	2	トヨタ自動車（株）の生産部門・海外工場で実務経験を積んだ教員が、トヨタ生産方式に基く、サプライチェーン内のオペレーション強化が、お客様に近づきQCDを高める事を、事例・実習を交え、講義する。学生は、サプライチェーンとそのマネジメントの重要性・インダストリアルエンジニアリングの基礎を理解し、それらの理解に基づき、どんな仕事でも、スムーズでスリムな流れを作る事が大切だ、そしてそれは出来る、という事を意識して行動出来る様になる。人口オーナス期の日本にとって、必須のテーマである。
トヨタ生産方式	渡辺 丈洋	2	トヨタ自動車（株）の生産部門・海外工場で実務経験を積んだ教員が、企業経営・運営に大切な、ものの見方・考え方である新幹線などの「戦後日本のイノベーション 100選」に、唯一考え方自体が選ばれた「トヨタ生産方式」を映像・事例を交え、講義する。学生が、社会人になった時、身につけておけば、どんな業界でも必ず役立つ内容である。
マーケティング入門	中西 眞知子	2	市場調査会社勤務の経験をもつ実務家教員が、マーケティングの入門教育を行う。
消費社会論	中西 眞知子	2	市場調査会社勤務の経験をもつ実務家教員が、市場と消費社会の再帰性について講義する。
マーケティング戦略	津村 将章	2	企業経験をもとに顧客満足を高めるための戦略について解説を行う。
消費者行動論	津村 将章	2	消費者の心理についてこれまでの経験も踏まえた講義を行う。
マーケティング・リサーチ	津村 将章	2	調査票の作成やデータの解析を行うだけでなく、その背景にある消費者の行動理由を考えた講義を行う。
管理会計Ⅰ	齊藤 毅	2	製造業での勤務経験を有する教員が、理論と実務の両面から、管理会計の基礎的概念について解説する
管理会計Ⅱ	齊藤 毅	2	製造業での勤務経験を有する教員が、理論と実務の両面から、管理会計の応用的概念について解説する
経営財務Ⅰ	矢部 謙介	2	本講義では、経営財務（コーポレート・ファイナンス）の考え方の基本と、そうした考え方が企業経営にどのように活かされているのかを学ぶ。コーポレート・ファイナンスは、その実務が理論と密接に結びついている点に特徴があるが、学生にとっては実務の実際が表から見えなため、必ずしも理解しやすいものとは言えない。そこで、本講義では担当教員が経営コンサルタントとして体験したコーポレート・ファイナンスに関係する実務の内容を講義に盛り込むことで、学生もコーポレート・ファイナンスの実務がイメージできるような講義を行なっている。

経営財務Ⅱ	矢部 謙介	2	本講義では、資金調達や配当行動など、コーポレートファイナンスの実務が企業においてどのように行なわれているのかを学ぶ。コーポレート・ファイナンスは、その実務が理論と密接に結びついている点に特徴があるが、学生にとっては実務の実際が表から見えなため、必ずしも理解しやすいものとは言えない。そこで、本講義では担当教員が経営コンサルタントとして体験したコーポレート・ファイナンスに関する実務の内容を講義に盛り込むことで、学生もコーポレート・ファイナンスの実務がイメージできるような講義を行なっている。
経営分析	矢部 謙介	2	本講義では、財務諸表のデータから企業の経営戦略や経営課題を浮き彫りにする分析手法について学ぶ。こうした分析においては財務諸表の知識のみならず、企業の経営実態についての深い理解が欠かせない。そこで、本講義では担当教員の経営コンサルティングにおける実務経験を基に、実際の企業における経営の状況や経営者の思考を学生に伝えることで、財務諸表のデータと企業の経営実態を有機的に結びつけることができるよう講義を行なっている。
国際ビジネス戦略Ⅰ	永石 信	2	コンサルティング会社などでグローバル企業への経営サポート経験を有する教員が、日本企業のグローバル経営課題と将来性について解説する。
国際ビジネス戦略Ⅱ	永石 信	2	コンサルティング会社などでグローバル企業への経営サポート経験を有する教員が、グローバル企業の問題解決提案作成のポイントを指導する。

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧

【国際英語学部 国際英語学科】学部固有 12単位
 【国際英語学部 英米文化学科】学部固有2単位
 【国際英語学部 国際英語学科国際英語キャリア】学部固有16単位
 【国際英語学部 国際英語学科英語圏文化】学部固有12単位
 【国際英語学部 国際英語学科国際学】学部固有24単位

履修可能学科・専攻

科目名	教員名	単位数	内容または授業概要	国際英語	英米文化	国際英語キャリア	英語圏文化	国際学
国際キャリア・ディベロップメント	二階堂 美房	2	三菱商事での勤務経験を有する教員が、業界研究の手法や社会人基礎力向上の具体例、様々な職種における仕事内容について解説する。	○		◎	○	○
航空ビジネス論	佐野 八重	2	ANA総合研究所での勤務経験を有する教員が、空港の役割と意義、民間航空発達の歴史、国際航空関係の条約と組織、航空政策の歴史と現状及び将来への課題などを解説する。	○		○	○	◎
ツーリズム論Ⅰ	平野 由紀子	2	JTBでの勤務経験を有する教員が、観光産業について教育分野・地域交流・国際交流及び経済効果の面から解説する。			◎		
ツーリズム論Ⅱ	平野 由紀子	2	JTBでの勤務経験を有する教員が、観光産業について教育分野・地域交流・国際交流及び経済効果の面から解説する。			◎		
マーケティング論	伊藤 清道	2	トヨタ自動車での勤務経験を有する教員が、ビジネスの原点である、「もの売る技（マーケティング）」について、多くの実例を踏まえて解説する。					◎
国際ビジネス論Ⅰ	伊藤 清道	2	トヨタ自動車での勤務経験を有する教員が、グローバル企業の成功や失敗例を参考に、その原因を考えながら、経営学のうち組織人事物流とサプライチェーンマネジメントの基礎理論について解説する。	○				◎
国際ビジネス論Ⅱ	伊藤 清道	2	トヨタ自動車での勤務経験を有する教員が、グローバル企業の成功や失敗例を参考に、その原因を考えながら、経営理論のうち、財務会計、戦略、イノベーションマネジメントについて解説する。	○				◎
国際経営学	伊藤 清道	2	トヨタ自動車での勤務経験を有する教員が、グローバルビジネスの基礎理論を、多くの実例を踏まえて解説する。					◎
ホスピタリティ論	佐野(代表)	2	ANA総合研究所での勤務経験を有する教員が、ホスピタリティを様々な角度から取り上げ、ホスピタリティの重要性を「自分」「他者」「社会」という3つのキーワードから考察する。	○				◎
English Project Workshop	イアン クック	2	ドキュメンタリー映画製作の実務経験を有する教員が、ポッドキャストの制作（執筆、録音、編集）およびソーシャルメディアプラットフォームを介したオンライン配信に関する実用的な知識について解説する。				◎	
ビジネス翻訳実務Ⅰ	船江かおり	2	現役のフリーランス実務翻訳者でもある教員が、ビジネスコミュニケーションツールとしての翻訳について、翻訳の実際から産業としての翻訳ビジネスに至るまで、実例を交えながら解説する。			◎		
ビジネス翻訳実務Ⅱ	船江かおり	2	現役のフリーランス実務翻訳者でもある教員が、ビジネスコミュニケーションツールとしての翻訳について、翻訳の実際から産業としての翻訳ビジネスに至るまで、実例を交えながら解説する。			◎		
国内企業インターンシップ	細川 眞	2	実際の職場での体験を通じて、社会で仕事をする上で必要となる基礎的な素養（行動力・課題解決能力・協働姿勢）の重要性を理解し、普段の学生生活の段階からそれら素養を意識して行動できるようになる。	○	○	○	○	○
海外研修B	中川 直志	2	中京大学国際センター主催の海外セミナーに参加、修了した国際英語学部生は、現地での学習成果と研修後のレポートに従い、2単位が認定される。海外ビジネス研修では、日系企業訪問を行い、会社役員など、現地で活躍する日本人の方々から、企業の業務内容だけでなく、海外で働く上での貴重な体験談や、将来海外で働くためのアドバイスを直接伺うことができる。			◎		
海外セミナーⅠ	アームストロング	2	中京大学国際センター主催の海外セミナーに参加、修了した国際英語学部生は、現地での学習成果と研修後のレポートに従い、2単位が認定される。海外ビジネス研修では、日系企業訪問を行い、会社役員など、現地で活躍する日本人の方々から、企業の業務内容だけでなく、海外で働く上での貴重な体験談や、将来海外で働くためのアドバイスを直接伺うことができる。				◎	
海外セミナーⅡ	アームストロング	2	中京大学国際センター主催の海外セミナーに参加、修了した国際英語学部生は、現地での学習成果と研修後のレポートに従い、2単位が認定される。海外ビジネス研修では、日系企業訪問を行い、会社役員など、現地で活躍する日本人の方々から、企業の業務内容だけでなく、海外で働く上での貴重な体験談や、将来海外で働くためのアドバイスを直接伺うことができる。				◎	
海外短期研修Ⅰ	榎木園 鉄也	2	中京大学国際センター主催の海外セミナーに参加、修了した国際英語学部生は、現地での学習成果と研修後のレポートに従い、2単位が認定される。海外ビジネス研修では、日系企業訪問を行い、会社役員など、現地で活躍する日本人の方々から、企業の業務内容だけでなく、海外で働く上での貴重な体験談や、将来海外で働くためのアドバイスを直接伺うことができる。					◎
海外短期研修Ⅱ	榎木園 鉄也	2	中京大学国際センター主催の海外セミナーに参加、修了した国際英語学部生は、現地での学習成果と研修後のレポートに従い、2単位が認定される。海外ビジネス研修では、日系企業訪問を行い、会社役員など、現地で活躍する日本人の方々から、企業の業務内容だけでなく、海外で働く上での貴重な体験談や、将来海外で働くためのアドバイスを直接伺うことができる。					◎

海外短期研修Ⅲ	榎木園 鉄也	2	中京大学国際センター主催の海外セミナーに参加、修了した国際英語学部生は、現地での学習成果と研修後のレポートに従い、2単位が認定される。海外ビジネス研修では、日系企業訪問を行い、会社役員など、現地で活躍する日本人の方々から、企業の業務内容だけでなく、海外で働く上での貴重な体験談や、将来海外で働くためのアドバイスを直接伺うことができる。						◎
海外短期研修Ⅳ	榎木園 鉄也	2	中京大学国際センター主催の海外セミナーに参加、修了した国際英語学部生は、現地での学習成果と研修後のレポートに従い、2単位が認定される。海外ビジネス研修では、日系企業訪問を行い、会社役員など、現地で活躍する日本人の方々から、企業の業務内容だけでなく、海外で働く上での貴重な体験談や、将来海外で働くためのアドバイスを直接伺うことができる。						◎

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧

【総合政策学部 総合政策学科】学部固有合計 18単位

科目名	教員名	単位数	内容または授業概要
短期海外演習	太田 真治	2	中京大学国際センター主催の海外セミナーに参加し、現地での学習成果と研修後のレポートに従い、2単位が認定される。海外ビジネス研修では、日系企業訪問を行い、会社役員など、現地で活躍する日本人の方々から、企業の業務内容だけでなく、海外で働く上での貴重な体験談や、将来海外で働くためのアドバイスを直接伺うことができる。
インターンシップ I	竹田 昌次	2	インターンシップとは、学生が企業などにおいて実習・研修的な就業体験をする制度のことである。近年の産業構造の激しい変化によって就業実態も大きく異なってきており、従来のイメージと現実との乖離や、学生の職業意識の未熟さなどから離職に繋がるケースも増えている。本科目はそういう現状への対応策のひとつとして設定されている。本科目は一定期間以上の就業に関する実習体験を行うもので、そのために本学キャリア支援課が設定する各種プログラム（インターンシップガイダンス及び事前研修など）に出席する必要がある。インターンシップ（就業体験）後は、報告書及び参加証明書を提出し、科目担当教員の審査を受けなければならない。
インターンシップ II	岡本 祥浩	2	総合政策学部独自の海外（アメリカ、ベトナム）でのインターンシップ科目として設定している。現地の日系企業でビジネス・パーソンに会って「グローバル人材像」を把握できる「グローバルキャリアプログラム」と「会社の課題解決」のために街頭アンケートや視察などを行う「マーケティング型ビジネス体験プログラム」のどちらかを選択して参加する。本プログラムに参加・修了し、現地での学習成果と研修後のレポートによる評価で2単位が認定される。
インターンシップ III	岡本 祥浩	2	インターンシップ I、または II を履修後、再度、国内、または海外のインターンシップに参加、修了した場合に、現地での学習成果と研修後のレポートによる評価で2単位が認定される。
	竹田 昌次		インターンシップ I、または II を履修後、再度、国内、または海外のインターンシップに参加、修了した場合に、現地での学習成果と研修後のレポートによる評価で2単位が認定される。
総合政策特殊講義 I	佐藤 茂春	2	読売新聞社により寄付講座であり、毎回、読売新聞社の記者が政治、経済、司法など様々な分野での政策や方針決定の現状と問題点を、新聞記者がニュースに即しながら解説する。
総合政策特殊講義 II	中村 将人	2	S M B C 日興証券グループによる寄附講座であり、毎回、S M B C 日興証券グループの担当社員が金融・経済に関して、実務的な視点から解説する。
総合政策特殊講義 III	小山 佳枝	2	愛知県との連携講座であり、愛知県の担当職員が少子化高齢化や防災などの分野に関して、現場で行われている政策について、実務的な視点から解説する。
現代デモクラシー論	岩田 明子	2	担当教員は、現職のNHK政治部記者兼解説委員であり、その経験に基づいて、政治における決断の背景について具体的なケースに照らしながら解説が行われる。
民法	上家 正裕	2	担当教員は、丸の内総合法務事務所に勤務する現職の行政書士であり、その経験に基づいて、民法の理論的な側面だけでなく、日々生じる、民事上の実務的な側面からの解説も行われる。

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧

【国際教養学部 国際教養学科】学部固有合計 16単位

科目名	教員名	単位数	内容または授業概要
東アジア近代史	高遠 拓児	2	この授業は、東アジアの近代の歴史に大きな影響を与えた人物や事件を取り上げながら、東アジア諸地域の歩みを明らかにしていくものである。本講義の担当教員は大学図書館での勤務経験があり、その職務には近代アジアに関わる特殊文庫の整理や目録作成なども含まれていた。本講義の授業内容には、この時に培った近代の史資料に関する知識が随所に反映されている。
演習Ⅲ	高遠 拓児	2	この演習では、各受講生が歴史に関わるテーマを設定し、調査・報告を重ねながら卒業研究の完成を目指して授業を進めている。とくに歴史学の研究に当たっては、図書館を活用した文献調査が重要なプロセスとなる。本演習の担当教員は大学図書館での勤務経験があり、その職務には外国語書籍の受入や目録作成が含まれていた。本演習では、この実務経験を活かした図書館での調査実習などを取り入れ、学生指導に役立っている。
演習Ⅳ	高遠 拓児	2	この演習では、各受講生が歴史に関わるテーマを設定し、調査・報告を重ねながら卒業研究の完成を目指して授業を進めている。とくに歴史学の研究に当たっては、図書館を活用した文献調査が重要なプロセスとなる。本演習の担当教員は大学図書館での勤務経験があり、その職務には外国語書籍の受入や目録作成が含まれていた。本演習では、この実務経験を活かした図書館での調査実習などを取り入れ、学生指導に役立っている。
演習Ⅴ	多田 哲	2	歴史文化系の演習は、最終目標を卒業研究においています。演習の参加者には、外国（あるいは地域）の歴史に関する任意のテーマで、卒業研究を執筆していただくことになります。外国の歴史を学ぶには、本来ならその国で現在使用されている言語を習得している必要があります。歴史の研究は、通常は自国でもっとも盛んであるので、先行研究を読み解くにはその国の言語に習熟しなければなりません。また古代や中世の時代を対象とするには、その当時の言語（古典語）を習得していなければ、当時に書かれた文献を読むことはできません。しかし幸いなことに、わが国は国際的にみても外国史研究が盛んであり、日本語で書かれた研究をフォローするだけでも、相当程度高いレベルに到達することができます。したがってこの演習は、日本語の文献を手がかりに進めていきます。 この演習では、卒業研究の執筆をおこないます。執筆にあたっては、草稿に対する教員の添削、その添削を踏まえての学生による修正という作業が必須となります。その際、教員が編集協力者として、出版社で実務をおこなっていた経験が生かされています。すなわち、言葉遣いの平準化などの校正や、記号などの校正ルールの習得です。
演習Ⅵ	多田 哲	2	歴史文化系の演習は、最終目標を卒業研究においています。演習の参加者には、外国（あるいは地域）の歴史に関する任意のテーマで、卒業研究を執筆していただくことになります。外国の歴史を学ぶには、本来ならその国で現在使用されている言語を習得している必要があります。歴史の研究は、通常は自国でもっとも盛んであるので、先行研究を読み解くにはその国の言語に習熟しなければなりません。また古代や中世の時代を対象とするには、その当時の言語（古典語）を習得していなければ、当時に書かれた文献を読むことはできません。しかし幸いなことに、わが国は国際的にみても外国史研究が盛んであり、日本語で書かれた研究をフォローするだけでも、相当程度高いレベルに到達することができます。したがってこの演習は、日本語の文献を手がかりに進めていきます。 この演習では、卒業研究を完成させます。完成にあたっては、原稿の確定、印刷業者への入稿、編集者である教員による校正という作業が必須となります。その際、教員が編集協力者として、出版社で実務をおこなっていた経験が生かされています。すなわち、原稿整理、校正から出版までの、一連の流れを熟知していることです。
キャリア・ディベロップメント	多田 哲	2	この授業は、就職活動の流れに沿って必要な要素を学修してゆくプロセスを通じて、就職活動に対する不安を期待に変えるための授業です。 授業の中では、会社研究・業界研究など社会を見る視点を広げながら、同時に内省を進め、その相互作用（リフレクション）の中で自己理解を深め、自己PRや志望動機をまとめていきます。また、就職活動や、グローバル人材に問われる力が「基礎力（ジェネリックスキル）」であることを学び、これからの大学生活でさらに伸ばすためのPDCAサイクルについて学修します。
インターンシップ	風間 孝	2	インターンシップとは、学生が企業などにおいて実習・研修的な就業体験をする制度のことである。近年の産業構造の激しい変化によって就業実態も大きく異なってきており、従来のイメージと現実との乖離や、学生の職業意識の未熟さなどから離職に繋がるケースも増えている。本科目はそういう現状への対応策のひとつとして設定されている。本科目は一定期間以上の就業に関する実習体験を行うもので、そのために本学キャリア支援課が設定する各種プログラム（インターンシップガイダンス及び事前研修など）に出席する必要がある。インターンシップ（就業体験）後は、報告書及び参加証明書を提出し、科目担当教員の審査を受けなければならない。
海外セミナー	スティーブン クラーク	2	After participating in and finishing the International Center's Overseas Seminar program, students desiring credit for the course must satisfactorily complete the following.(1) A 1,000 word English essay concerning "Similarities and differences between Japanese culture and the culture of the country where you studied" and (2) an English presentation of the essay's contents followed by a question & answer session in English.

平和論 A	今野 泰三	2	<p>この授業は、世界の戦争と平和に関わる諸問題を多角的に学び、それらを自分自身の問題として考える姿勢を身につけるための授業です。</p> <p>担当教員は、世界各地で人道支援・開発援助・平和構築の活動に従事する国際協力NGO「日本国際ボランティアセンター（JVC）」にボランティアとして約10年、有給スタッフとして4年間働いた経験を有しています。その中で得た知識と実務経験を活かし、体験談を交えながら、南北問題、途上国の天然資源と内戦の関係、国際人道法と国連の役割などについて講義をしています。</p>
平和論 B	今野 泰三	2	<p>この授業は、中東地域の戦争と平和に関わる諸問題を多角的に学び、中東における戦争の原因と背景を理解し、かつ、中東における平和の実現のために何が必要かを主体的に考える姿勢を身につけてもらうための授業です。</p> <p>担当教員は、世界各地で人道支援・開発援助・平和構築の活動に従事する国際協力NGO「日本国際ボランティアセンター（JVC）」にボランティアとして約10年、有給スタッフとして4年間働いた経験を有しています。特に、中東地域のパレスチナ/イスラエルに現地代表として4年間駐在し、人道支援・開発支援に携わりました。授業では、実務経験とそこで得た知識を活かし、体験談を交えながら、対テロ戦争、パレスチナ問題、難民問題などのテーマについて講義をしています。</p>
ジェンダー論A	柳本 祐加子	2	<p>地方自治体の男女共同参画プランの策定、そのための基礎調査等について、担当職員と共に調査票原案作成、結果分析、プラン原案作成等々の実務に、男女共同参画市民会議顧問として携わった経験に基づき、男女共同参画政策や社会事象のジェンダー分析の実際を講ずる。</p>
ジェンダー論B	柳本 祐加子	2	<p>地方自治体の男女共同参画プランの策定、そのための基礎調査等について、担当職員と共に調査票原案作成、結果分析、プラン原案作成等々の実務に、男女共同参画市民会議顧問として携わった経験に基づき、男女共同参画政策や社会事象のジェンダー分析の実際を講ずる。</p>

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧

【工学部 機械システム工学科】学部固有合計23単位

科目名	教員名	単位数	内容または授業概要
電気・電子・デジタル回路	清水 優	2	ロボットコンペティションに参加するロボットの知見から、電気回路・電子回路・デジタル回路の知識に加えて、ロボットのどこでどのようにそれらの知識が用いられているか興味を高める話題を織り交ぜている。
線形代数学	橋本 学	2	本科目では、線形代数学の基本および応用について扱っている。そのため、企業での知能ロボットまたは人工知能システム開発に携わってきた実務経験をもとに、線形代数学の実応用に関する実例を示したり、PC演習室での演習を通じて実際に数値演算とAIとの関係を学ばせるなど、数学系科目と将来の技術開発との接点について自然に修得できるような講義および講義内演習を実践している。
生産システム工学概論	橋本 学	2	本科目では、ものづくりの基本として、生産システムの概要、関連装置の解説、コンピュータ支援生産システムの考え方など、これからの企業開発現場で必要となる内容を扱う。そのため、生産技術研究に携わってきた実務経験をもとに、現実の工場における課題や問題点、生産技術担当者あるいは経営層の考え方を踏まえつつ、実例を意識した授業を展開している。
センサ工学	橋本 学	2	本科目では、知能ロボット等の高度システムの開発に不可欠なセンシング技術を扱っている。そのため、産業システム研究および先端技術研究に関する実務経験をもとに、企業において重要になる技術を重点的に扱ったり、実用的な知能ロボットに求められる機能やその実現方法、とりわけ人工知能に関して、実践的な内容を講義している。
計測制御プログラミング (LabVIEW)	井口 弘和	2	企業研究で体験してきたプログラム開発のコツをつかむことができるように、企業での計測・制御用ソフトウェアの世界標準となっている、LabVIEWプログラミングの基礎技術の実習指導を行っている。
工学基礎実験A (体験・シミュレーション)	井口 弘和／種田 行男／青木 公也／ 石原 彰人／森島 昭男／清水 優／山 根 基	2	本科目は複数の教員によるオムニバス形式で行われる。 【井口 弘和】 企業研究所で行ってきた基礎的な評価手法を参考にして、マンマシン・インターフェースの評価法についての体験的な実験実習を行っている 【清水 優】 ロボットコンペティションで接した参加ロボットの知見から、ロボットの知識に加えて、ロボットのどこでどのようにそれらの知識が用いられているか興味を高める話題を織り交ぜている。
工学基礎実験B (体験・シミュレーション)	沼田 宗敏／野浪 亨／橋本 学／王 建国／加納 政芳／ 秋月 秀一	2	本科目は複数の教員によるオムニバス形式で行われる。 【野浪 亨】 国立研究所在籍時の素材製造メーカーとの共同研究で得たセラミックス製造の経験を実験内容の構成、実験指導に生かしている。
材料工学	野浪 亨／寺岡 啓 ／佐藤 誠	2	電子部品製造メーカーでの電子部品素材の開発・量産化に12年間携わった経験、および国立研究所での8年間の環境保全材料、生体材料の研究・開発の経験を材料工学の基礎的事項から応用までの講義内容に生かしている。 さらに、オムニバス形式で高分子材料の開発に携わっている企業およびバイオメタリック材料の研究を行っている筑波の国立研究所から講師を招いて指導を行っている。

材料力学	野浪 亨／渡津 章	2	JISおよびISO標準化委員としてセラミックス材料の物性の規格化に携わっていた経験、電子部品製造メーカーおよび国立研究所での研究・開発の経験を生かしている。 さらに、オムニバス形式で金属材料の開発に携わっている国立研究所から講師を招いて指導を行っている。
機械設計製作 1	森島 昭男／清水 優／青木 公也	2	ロボットコンペティションで接した参加ロボットの知見から、ロボットのモータ制御回路製作と制御プログラミング 作成実習において、より現実的なロボットで実習内容がどのように用いられているか興味を高める話題を織り交ぜている。
機械設計製作 2	森島 昭男/青木 公也/清水 優	4	ロボットコンペティションで接した参加ロボットの知見から、ロボットのモータ制御回路製作と制御プログラミング 作成実習において、より現実的なロボットで実習内容がどのように用いられているか興味を高める話題を織り交ぜている。
ロボット工学	橋本 学	2	本科目では、知能ロボット等の高度システムの開発に不可欠なロボット技術を扱っている。そのため、産業システム研究および先端技術研究に関する実務経験をもとに、企業において重要になる技術を重点的に扱ったり、実用的な知能ロボットに求められる機能やその実現方法、とりわけロボット制御および情報技術とロボット技術との接点領域に関して、実践的な内容を講義している。
メカトロニクス	橋本 学	2	本科目では、高度メカトロニクスシステムの開発に不可欠な要素技術としての電気電子系、メカニクス系、制御系、情報系の技術を扱っている。そのため、産業システム研究および先端技術研究に関する実務経験をもとに、企業において重要になる技術を重点的に扱ったり、実用的なメカトロニクスシステムに求められる機能やその実現方法に関して、実践的な内容を講義している。
ロボット製作実習	森島 昭男／清水 優／青木 公也	2	ロボットコンペティションでのロボット製作の知見から、より現実的な内容とできるように 受講学生グループによるグループディスカッション・スケジューリング・作業分担・実作業・プレゼンテーションを実施している。
感性工学	井口 弘和	2	企業研究所での研究経験に基づき、感性工学の要素技術となっている多変量解析技術の演習を研究テーマを交えながら修得できるようにしている。
技術者倫理	比屋根 均 ／麻田 祐一	2	技術士の資格を有する講師のもとで、技術者になるために必要な倫理的能力や資質、自覚を準備する。
卒業研究 1	井口 弘和	3	本科目は、各教員の研究室に配属され研究室毎に指導を受けるゼミ科目である。 【井口 弘和】 感性工学分野に関わる卒業研究テーマを推進するために、企業での同分野の研究経験を活かして、製品開発に伴う人間中心設計のための研究デザインの指導を行っている。 【野浪 亨】 電子部品製造メーカーで新電子部品素材（磁性材料、半導体材料の開発・量産化、および国立研究所での環境保全材料、生体材料の研究・開発の経験を生かしている。さらにJISおよびISO国内標準化委員、企業との共同研究、論文執筆（100件以上）、論文査読、特許の出願（150件以上）の経験を指導に役立てている。 【橋本 学】 本科目では、知能ロボットおよびその関連技術の習得を目的として、研究活動を通じた技術者教育を実施している。そのため、製造系企業の先端的な研究部門における実務経験をもとに、技術者教育に適した研究テーマの選定、およびスケジュール管理、ドキュメンテーションなどの研究開発遂行上の重要ポイントについて実践的な内容を取り入れている。 【清水 優】 ロボットコンペティションで接した参加ロボットの知見から、ロボットを使用した研究テーマの検討やロボットを用いた実験と 実験結果の評価などを実施している。

卒業研究 2	井口 弘和	3	<p>本科目は、各教員の研究室に配属され研究室毎に指導を受けるゼミ科目である。</p> <p>【井口 弘和】 当該研究室での感性工学分野に関わる卒業研究テーマを推進するために、企業での同分野の研究経験を活かして、製品開発に伴う人間特性の計測実験や解析手法の指導を行っている。</p> <p>【野浪 亨】 電子部品製造メーカーで新電子部品素材（磁性材料、半導体材料の開発・量産化、および国立研究所での環境保全材料、生体材料の研究・開発の経験を生かしている。さらにJISおよびISO国内標準化委員、企業との共同研究、論文執筆（100件以上）、論文査読、特許の出願（150件以上）の経験を指導に役立てている。</p> <p>【橋本 学】 知能ロボットおよびその関連技術の習得を目的として、研究活動を通じた技術者教育を実施している。そのため、製造系企業の実験研究部門における実務経験をもとに、技術者教育に適した研究テーマの選定、およびスケジュール管理、ドキュメンテーションなどの研究開発遂行上の重要ポイントについて実践的な内容を取り入れている。</p> <p>【清水 優】 ロボットコンペティションで接した参加ロボットの知見から、ロボットを使用した研究テーマの検討やロボットを用いた実験と 実験結果の評価などを実施している。</p>
電気電子特別講義 A	磯 直行／萩本 和徳／坂部 俊樹	2	企業等から講師を招いたオムニバス形式により、半導体製造に携わる者などがその経験を活かして具体的な製造過程や企業活動を講義する。
電気電子特別講義 B	上林／安藤／古橋／二宮／藤原／水野／箕輪／福島／内田／奥村幸／庭川／奥村隆／安井／坂部	2	電気電子工学の最先端で活躍する他大学及び企業の研究者、開発者が1コマずつ講義するオムニバスの講義科目である。電気電子工学が実社会でどのように利用されているか、プロのエンジニアはどのような知識、技能を使い、どのような活躍をしているかを、実例を通して知ること、これまでに修得した知識、技能、これから学習する専門知識、技能の実社会における使われ方を理解し、その意味、価値に関する認識を新たにするとともに、興味のある分野を自主的に勉強する契機を提供することを目的とする。
インターンシップ	井口 弘和	2	一定期間以上の就業に関する実習体験を行う科目である。企業でのインターンシップの指導経験を活かして、学生の企業などでの実習・研修的な就業体験をサポートしている。
海外セミナー 1	王 建国	2	この科目は、本学国際センター企画・主催の海外語学研修に参加・修了し要件を満たした場合に、単位が認定される。毎年夏期、春期休暇中の2回、学術交流協定校などで実施される。約1ヵ月間、ホームステイや寮に滞在しながら語学研修を受ける。日本を離れて海外で生活し、生きた英語・異文化に触れることで、語学力の向上と同時に、忍耐力・異文化適応力を中心とした国際感覚を身につけることができる。
海外セミナー 2	王 建国	2	この科目は、海外セミナー 1の単位認定済みで、2回目の本学国際センター企画・主催の海外語学研修に参加・修了し要件を満たした場合に、単位が認定される。毎年夏期、春期休暇中の2回、学術交流協定校などで実施される。約1ヵ月間、ホームステイや寮に滞在しながら語学研修を受ける。日本を離れて海外で生活し、生きた英語・異文化に触れることで、語学力の向上と同時に、忍耐力・異文化適応力を中心とした国際感覚を身につけることができる。

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧

【工学部 電気電子工学科】学部固有 16単位

科目名	教員名	単位数	内容または授業概要
電気電子特別講義 A	磯 直行／萩本 和徳 ／坂部 俊樹	2	企業等から講師を招いたオムニバス形式により、半導体製造に携わる者などがその経験を活かして具体的な製造過程や企業活動を講義する。
電気電子特別講義 B	上林／安藤／古橋／ 二宮／藤原／水野／ 箕輪／福島／内田／ 奥村幸／庭川／奥村 隆／安井／坂部	2	電気電子工学の最先端で活躍する他大学及び企業の研究者、開発者が1コマずつ講義するオムニバスの講義科目である。電気電子工学が実社会でどのように利用されているか、プロのエンジニアはどのような知識、技能を使い、どのような活躍をしているかを、実例を通して知ることで、これまでに修得した知識、技能、これから学習する専門知識、技能の実社会における使われ方を理解し、その意味、価値に関する認識を新たにするとともに、興味のある分野を自主的に勉強する契機を提供することを目的とする。
電波工学	上林 真司	2	教員は、移動通信事業者に20年間勤務した経験があり、電波伝搬、EMC、近傍電磁界、電波の生体影響など、電波に関する様々な研究実績がある。本講義では、その経験を踏まえて、電波伝搬の理論と実際を教育する。
無線通信工学	上林 真司	2	教員は、移動通信事業者に20年間勤務した経験があり、第2世代、第3世代移動通信方式を研究開発し、ミリ波超高速移動通信方式の研究を牽引した実績がある。本講義では、その経験を踏まえて、無線通信技術の基礎を実際の開発事例と併せて紹介し、実際的な教育を行う。
電波法規	上林 真司	2	教員は、移動通信事業者に20年間勤務した経験があり、第2世代移動通信方式、第3世代移動通信方式の研究開発に当たり、無線局免許を申請取得し、また国際標準化を主導した実績がある。本講義では、その経験を踏まえ、電波法及び周辺法令を実情と併せて紹介し、実際的な教育を行う。
インターンシップ	上野 一磨	2	本科目は一定期間以上の就業に関する実習体験を行う。インターンシップとは、学生が企業などにおいて実習・研修的な就業体験をする制度のことである。近年の産業構造の激しい変化によって就業実態も大きく異なっており、従来のイメージと現実との乖離や、学生の職業意識の未熟さなどから離職に繋がるケースも増えている。本科目はそういう現状への対応策のひとつとして設定されている。
海外セミナー 1	上野 一磨	2	この科目は、本学国際センター企画・主催の海外語学研修に参加・修了し要件を満たした場合に、単位が認定される。毎年夏期、春期休暇中の2回、学術交流協定校などで実施される。約1ヵ月間、ホームステイや寮に滞在しながら語学研修を受ける。日本を離れて海外で生活し、生きた英語・異文化に触れることで、語学力の向上と同時に、忍耐力・異文化適応力を中心とした国際感覚を身につけることができる。
海外セミナー 2	上野 一磨	2	この科目は、海外セミナー 1の単位認定済みで、2回目の本学国際センター企画・主催の海外語学研修に参加・修了し要件を満たした場合に、単位が認定される。毎年夏期、春期休暇中の2回、学術交流協定校などで実施される。約1ヵ月間、ホームステイや寮に滞在しながら語学研修を受ける。日本を離れて海外で生活し、生きた英語・異文化に触れることで、語学力の向上と同時に、忍耐力・異文化適応力を中心とした国際感覚を身につけることができる。

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧

【工学部 情報工学科】学部固有合計 20単位

【情報理工学部 情報システム工学科】学部固有合計 4単位

履修可能学科

科目名	教員名	単位数	内容または授業概要	情報工	情報システム工
インターンシップ	伊藤 秀昭	2	本科目は一定期間以上の就業に関する実習体験を行う。インターンシップとは、学生が企業などにおいて実習・研修的な就業体験をする制度のことである。近年の産業構造の激しい変化によって就業実態も大きく異なっており、従来のイメージと現実との乖離や、学生の職業意識の未熟さなどから離職に繋がるケースも増えている。本科目はそういう現状への対応策のひとつとして設定されている。	○	○
海外セミナー 1	伊藤 秀昭	2	この科目は、本学国際センター企画・主催の海外語学研修に参加・修了し要件を満たした場合に、単位が認定される。毎年夏期、春期休暇中の2回、学術交流協定校などで実施される。約1か月間、ホームステイや寮に滞在しながら語学研修を受ける。日本を離れて海外で生活し、現地の英語・異文化に触れることで、語学力の向上と同時に、国際感覚を身につけることができる。	○	
海外セミナー 2	伊藤 秀昭	2	この科目は、海外セミナー 1の単位認定済みで、2回目の本学国際センター企画・主催の海外語学研修に参加・修了し要件を満たした場合に、単位が認定される。毎年夏期、春期休暇中の2回、学術交流協定校などで実施される。約1か月間、ホームステイや寮に滞在しながら語学研修を受ける。日本を離れて海外で生活し、生きた英語・異文化に触れることで、語学力の向上と同時に、忍耐力・異文化適応力を中心とした国際感覚を身につけることができる。	○	
C++言語 1	濱川 礼	2	Cを修得した後、更なるプログラミングスキルを身につけるためにC++を学習する。Cとの相違点、C++の長所等を踏まえた上でCGI等実用場面での応用にも触れる。実務経験を生かして単にC++の言語を覚えるだけでは無く、C++の基本となるオブジェクト指向概念、そこから派生するC++の基本的仕組みについて理解し、(C++らしい)簡単なプログラムが作成出来るようにさせるのが授業目標である。具体的には(C++の基本となる)オブジェクト指向概念、C++の基本的仕組みについて理解し、(C++らしい)簡単なC++のプログラムが作成できるようにする。	○	
ソフトウェア工学	濱川 礼	2	本科目は基本的なプログラム及びアルゴリズムとデータ構造と並行して、実際の問題解決の過程をプログラムとして表現していくために必要な設計記述法等を講義する。構造化プログラミング、オブジェクト指向的プログラミングの背景を理解し、フローチャート、HCPチャート、UMLでシステムを記述することができるようにするが実務経験を生かして教科書的な定義を実際の現場でどのように使用法しているかについても簡単に触れる。	○	○
ウェブ入門	濱川 礼	2	本講義では、Webの歴史を振り返り、現状を理解した上で、いかにアピールするWebページを効率よく作成していくか、そのための基本的な言語や使い方について講義する。単に利用するだけでは無くWebの基本的知識(ブラウザ、ホームページ等)、ホームページの作成方法について理解することが授業目標である。インターネットとWebの基礎知識、HTMLを理解することで、Web上でホームページが作成・評価ができるようにする。特に評価について実務経験を生かして現場での実践的な評価法についても述べる。	○	
コンピュータネットワーク	鈴木 常彦	2	東海インターネット協議会や地域ISPで古くからネットワーク運用に携わり、現在も IT 企業のCTO を兼務している教員の経験をもとに、インターネットワーキング技術やサーバの仕組み等をOSI や TCP/IP の基礎から実践的知識まで詳しく教授している。	○	
情報と通信の理論	鈴木 常彦	2	シャノンの情報理論やトラフィック理論の教科書的な知識に加え、東海インターネット協議会や地域ISPで古くからネットワーク運用に携わり、現在も IT 企業のCTO を兼務している教員の経験をもとに、ISP がどのようにトラフィックを捌いているか等、現場の実践的な知識まで教授している。	○	
暗号とセキュリティ	鈴木 常彦	2	教科書的な暗号理論に加えて、DNS や WWW サーバ、そして TCP/IP などの基盤技術に潜む各種の脆弱性とその対策について、東海インターネット協議会や地域ISPで古くからネットワーク運用に携わり、現在も IT 企業のCTO を兼務している教員が、経験をもとにした実践的で最新のセキュリティ知識を教授している。	○	
情報技術者倫理	鈴木常彦/土屋孝文/小笠原秀美/久留宮眞	2	4人の教員がオムニバス形式で講義を担当している。うち2人が実務家である。一人はコンピュータメーカーのOBを非常勤講師に迎え、IT業界における倫理的問題を教授してもらっている。そしてもう一人、東海インターネット協議会や地域ISPで古くからネットワーク運用に携わり、現在もIT企業のCTOを兼務している専任教員が、インターネットの光と影について現実的問題を提起して学生たちに技術者はどうあれば良いかを考えてもらう授業を行っている。	○	

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧

【工学部 メディア工学科】学部固有 14単位

科目名	教員名	単位数	内容または授業概要
インターンシップ	中 貴俊	2	本科目は一定期間以上の就業に関する実習体験を行う。インターンシップとは、学生が企業などにおいて実習・研修的な就業体験をする制度のことである。近年の産業構造の激しい変化によって就業実態も大きく異なってきており、従来のイメージと現実との乖離や、学生の職業意識の未熟さなどから離職に繋がるケースも増えている。本科目はそういう現状への対応策のひとつとして設定されている。
メディア技術1 (ICTの基本)	中 貴俊	2	メディア技術者には、情報通信技術 (ICT : Information and Communication Technology) の基礎を十分理解し、それを実践・応用する能力が求められる。情報メディアの中核をなすコンピュータの仕組みを理解する上で重要な情報の基礎理論とハードウェアについて学ぶ。コンピュータの内部では情報はどのように表現され、どのような仕組みによって処理されているか、また、その処理の基本的な原理はどのようなものであるかなど、を講義する。 ICTの専門家として最小限の基礎知識を有するとともに、ICT機器の取り扱いもできることを目標とする。
海外セミナー1	宮田 義郎	2	本科目は一定期間以上の就業に関する実習体験を行う。インターンシップとは、学生が企業などにおいて実習・研修的な就業体験をする制度のことである。近年の産業構造の激しい変化によって就業実態も大きく異なってきており、従来のイメージと現実との乖離や、学生の職業意識の未熟さなどから離職に繋がるケースも増えている。本科目はそういう現状への対応策のひとつとして設定されている。
海外セミナー2	宮田 義郎	2	この科目は、海外セミナー1の単位認定済みで、2回目の本学国際センター企画・主催の海外語学研修に参加・修了し要件を満たした場合に、単位が認定される。毎年夏期、春休休暇中の2回、学術交流協定校などで実施される。約1ヵ月間、ホームステイや寮に滞在しながら語学研修を受ける。日本を離れて海外で生活し、生きた英語・異文化に触れることで、語学力の向上と同時に、忍耐力・異文化適応力を中心とした国際感覚を身につけることができる。
音響メディア1 (Sound Design)	カール ストーン	2	インターフェースのデザイン、DSPテクニック、オーディオ/ビジュアル・プログラミングへの新しいアプローチを講義と演習形式で学び、実用的な音響プログラミング演習を通して、音響メディアを用いた表現手法を習得する。
情報デザイン	上芝 智裕	2	デザインとは考え方や情報を明確にし、人が利用できるようにすることである。コンテキストや目的のない情報は単なるデータであり、情報を製品や作品にするには、社会的な目的や実質的経済を伴った物理的な構造とコンテキストを与えるデザイナーの存在が不可欠である。デザイナーがコンピュータメディアの仕事で直面する最大の課題は、ディスプレイの外にある人間の側の製品やサービスに意味や命を吹き込むことなのである。この授業ではこのような広義のデザインにかかわる概念を学び、実践する方法論を身につける。作品制作を通じて、情報デザインに必要なスキルとコミュニケーション能力を獲得する。
映像処理1 (CG)	宮崎 慎也	2	CG映像を生成するためのモデリングおよびレンダリングに関する基礎知識を習得する。特に、デジタル画像の仕組み、図形描画アルゴリズム、行列による座標変換や投影変換の実現方法、曲面を含む立体形状の表現方法、シェーディングによる陰影表現、補間法を利用してアニメーションを効率よく生成するための手法、レイトレーシングやラジオシティ法などの写実的な映像を生成するためのレンダリングアルゴリズム、カリングをはじめとする高速化のためのアルゴリズムについて学ぶ。コンピュータグラフィックスに関する基礎的知識を幅広く身につける。

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧

【現代社会学部 現代社会学科】学部固有合計 38単位
 【現代社会学部 現代社会学科 社会学】学部固有合計 94単位
 【現代社会学部 現代社会学科 コミュニティ学】学部固有合計 98単位
 【現代社会学部 現代社会学科 社会福祉学】学部固有合計 100単位
 【現代社会学部 現代社会学科 国際文化】学部固有合計 92単位

科目名	教員名	単位数	内容または授業概要	履修可能学科・専攻				
				現代社会	社会学	コミュニティ学	社会福祉学	国際文化
インターンシップ	加藤 晴明	2	インターンシップとは、学生が企業などにおいて実習・研修的な就業体験をする制度のことである。近年の産業構造の激しい変化によって就業実態も大きく異なっており、従来のイメージと現実との乖離や、学生の職業意識の未熟さなどから離職に繋がるケースも増えている。本科目はそういう現状への対応策のひとつとして設定されている。本科目は一定期間以上の就業に関する実習体験を行うもので、そのために本学キャリア支援課が設定する各種プログラム（各種ガイダンスなど）に出席する必要がある。	○	◎	○	○	○
海外語学演習	加藤 晴明	2	中京大学国際センター企画・主催の、海外セミナーに参加し、終了することにより、所定の単位を与えます。海外での生活を体験することにより、外国語運用能力を向上させ、文化の理解を深めます。	○	◎	○	○	○
児童福祉論	宮地 菜穂子	2	NPOの職員が、子どもと家族を取り巻く社会的、歴史的背景や、児童福祉法を中心とした法体系、児童福祉施設の役割などの基礎知識について概説する。	○	○	○	◎	○
国際理解教育Ⅰ	伊沢 令子	4	NPOの職員が、「人権」「環境」「開発」「共生」「平和」など、地域社会・地球社会が抱える今日的課題について知り、それらの課題と自分との関わりをふりかき、課題を解決しながらよりよい未来を共に築くために必要な「知識」だけではなく「力」を身につける場を提供します。	○	○	○	○	◎
イベントプロデュース論	岡村 徹也	2	地元大手新聞社の事業部副部長が、イベントを仕掛ける側の狙いは何か、今日の社会情勢の中で求められるイベントとは何かについて分析・説明する。	○	◎	○	○	○
ひとのからだの理解と疾病	伊藤 不二男	2	医師が、「人体の構造と機能」、「疾病の病態と治療」、「障害の概念」、「リハビリテーション」、「国際生活機能分類(ICF)の考え方」など、人の総合的理解に役立つ知識を提供する。	○	○	○	◎	○
ソーシャルワーク演習Ⅰ	野口 典子	4	オムニバス形式で福祉施設等から講師を招いて講義を行っている。	○	○	○	◎	○
広告論	桜庭 勝彦	2	大手広告代理店OB・ACC名古屋役員が、広告について多くの事例を紹介しながら解説する	○	◎	○	○	○
ソーシャルワーク演習Ⅲ	伊藤/岩間/池戸/野方	2	オムニバス形式で福祉施設等から講師を招いて講義を行っている。	○	○	○	◎	○
メディア特論	五十嵐 功	2	元大手新聞社編集長が、メディア・リテラシーについて解説する。	○	◎	○	○	○
市民社会のエスノグラフィー	ソ ロンガ	2	学芸員が、文化人類学の分野で中心的な調査方法として発展してきた、人びとが実際に生きている現場を理解するための方法論であるエスノグラフィーの基本を学ぶための導入を行う。	○	○	○	○	◎
就労支援論	谷川 陽美 他	2	オムニバス形式で福祉施設等から講師を招いて講義を行っている。	○	○	○	◎	○
出版メディア技法	平野 友明	2	印刷系広告会社経営者が、広告の業界の仕組みや広告戦略の技法を解説する。	○	◎	○	○	○
映像メディア技法	加藤 行延	2	地元で活躍する映画監督が、映像作品の制作実習を通じて、映像の制作技法を実践的に解説する。	○	◎	○	○	○
教育問題と学校の社会学	森田 次朗	2	公立中学校（夜間中学校）、及び民間の教育施設（フリースクール、中間支援NPO等）での実務経験（総合育成支援員、ボランティア・スタッフ、理事）のある教員が、日本の学校教育制度が抱える諸問題をテーマに講義を実施している。	○	◎	○	○	○
生涯学習論Ⅰ	森田 次朗	2	公立中学校（夜間中学校）、及び民間の教育施設（フリースクール、中間支援NPO等）での実務経験（総合育成支援員、ボランティア・スタッフ、理事）のある教員が、日本の社会教育制度が抱える諸課題をテーマに講義を実施している。	○	◎	○	○	○
人間形成論	竹井 沙織	2	生活困窮世帯を対象とした学習支援事業（対象は中高生）、通信制高校、知的・発達障がい児・者を対象としたNPO法人立の高校・大学等の実践に関わる教員が、人間形成（社会化）の理論とメカニズムについて講義を実施している。	○	◎	○	○	○
社会・公民科教育法	森田 次朗	4	中等社会科教育の現場において、中学社会科・高校公民科教諭（私立中高一貫校）と合同で教材開発（科研プロジェクト）をした経験をもつ教員が、日本の社会・公民科教育の特徴と課題について講義を実施している。	○	◎	○	○	○
社会科教育法	生田 清人	4	現職の社会科教諭（私立学校特任講師・顧問）が、中等教育における社会科教育の特徴と課題について講義を実施している。	○	◎	○	○	○
自然地理学	生田 清人	2	現職の社会科教諭（私立学校特任講師・顧問）が、地図や表を活用しながら中学・高校段階における学校地理（自然地理的分野）の知識と技法について講義を実施している。	○	◎	○	○	○
地誌	生田 清人	2	現職の社会科教諭（私立学校特任講師・顧問）が、地図や表を活用しながら「地誌とは何か」について講義を実施している。	○	◎	○	○	○
コミュニティ心理学	辻井 正次	2	NPOの理事長でもある教員が、地域での人の発達支援や社会的支援を基に、コミュニティ心理学の基本的な概要とともに、実際のコミュニティにおける支援のあり方に関して講義を行う。	○	○	◎	○	○
臨床発達援助論	辻井 正次	2	NPOの理事長でもある教員が、実際の発達障害等の社会的シネを必要とする人たちに有効な支援の手法などを講義する。	○	○	◎	○	○

臨床心理学	辻井 正次	2	NPOの理事長でもあり、長く教育委員会等の学校現場での相談についている教員が、臨床心理学の概要を講義するとともに、実際の各ライフステージごとの心理的支援の実際について話を行う。	○	○	◎	○	○
家族社会学	松田 茂樹	2	政府や自治体の少子化対策の委員等をしてきた教員が、少子化や家族の変容について講義を行っている。		○	◎	○	○
データ分析論	松田 茂樹	2	民間シンクタンクで社会調査とデータ分析を手がけてきた教員が、その経験をふまえた講義を行っている。	○	○	◎	○	○
地域社会学	小木曾 洋司	2	社会福祉法人理事長の講師が障害者の地域社会との関わりを講義する。		○	◎	○	○
博物館概論	亀井 哲也	2	博物館学芸員としての実務経験を持つ講師が、博物館の基本的情報や基礎的知識を教授するとともに、博物館のもつ潜在力、現代社会の諸問題の対峙する次世代型博物館像について講義する。	○	○	○	○	◎
博物館経営論	亀井 哲也	2	博物館学芸員としての実務経験を持つ講師が、博物館経営という視点から、博物館の組織、人材、活動のあり方、そして博物館専門職員の倫理などについて講義する。	○	○	○	○	◎
博物館資料論	日比野 光敏	2	博物館学芸員としての実務経験を持つ講師が、広範にわたる博物館資料に関する理論と、量量の測定や採寸の方法などの実践について講義する。	○	○	○	○	◎
博物館資料保存論	渡辺 道斉	2	博物館学芸員としての実務経験を持つ講師が、博物館の活発な活動や交流を支えるために必要な、資料保存上の取り扱いに関する心構え、基礎知識、技能、技術について講義する。	○	○	○	○	◎
博物館展示論	日比野 光敏	2	博物館学芸員としての実務経験を持つ講師が、博物館展示業務による「モノ」の語らせ方などを講義し、実際の展覧会を想定しての企画書作りなどの課題を与えている。	○	○	○	○	◎
博物館教育論	宮里 孝生	2	現役の博物館学芸員である講師が、博物館における教育活動の現状と課題を講義し、「能動的」な利用者主体型の博物館教育活動の在り方について履修生に考えさせている。	○	○	○	○	◎
博物館情報・メディア論	宮里 孝生	2	現役の博物館学芸員である講師が、博物館における情報・メディアの意義と活用方法について講義し、学芸員として博物館情報を活用する際の基礎的な能力を養成している。	○	○	○	○	◎
文化人類学入門	斉藤 尚文	2	NGO理事長が、文化人類学の基礎を身につける場を提供する。		○	○	○	◎
社会人類学特講	斉藤 尚文	2	NGO理事長が、英語の文献読解力を身につける場を提供する。		○	○	○	◎
国際理解教育1	伊沢 令子	4	NPO理事長が、「人権」「環境」「開発」「共生」「平和」など、地域社会・地球社会が抱える今日の課題について知り、それらの課題と自分との関わりをふりかえり、課題を解決しながらよりよい未来を共に築くために必要な「知識」だけではなく「力」を身につける場を提供する。		○	○	○	◎
国際理解教育2	伊沢 令子	4	NPO理事長が、「人権」「環境」「開発」「共生」「平和」など、地域社会・地球社会が抱える今日の課題を解決し、よりよい未来を共に築くために必要な場を提供するスキルを鍛える。		○	○	○	◎
文献学と英語	神田 すみれ	2	外国人就職支援団体会員が、事例を通して、国際協力について考える場を提供する。					◎
地域福祉論Ⅱ	平澤 恵美	2	科目担当者は、NPOでの地域支援（特に精神保健福祉）に携わりつつ、それら実践を踏まえて講義を行っている。	○	○	○	◎	○
地域福祉論Ⅰ	野口 定久	2	科目担当者は、複数の自治体において地域福祉計画や地域福祉活動計画の立案に携わりつつ、それらの実践を踏まえて講義を行っている。	○	○	○	◎	○
生活保護と生活支援	内山 治夫	2	科目担当者は、元社会福祉事務所職員として生活保護業務に携わった経験を持つ。その実践を踏まえて講義を行っている。	○	○	○	◎	○
障害者福祉論	伊藤 葉子	2	科目担当者は、複数の自治体において障害者基本計画、障害福祉計画の立案に携わりつつ、それらの実践を踏まえて講義を行っている。	○	○	○	◎	○
医療福祉論	小川 みのり	2	科目担当者は、元医療ソーシャルワーカーでありかつ現任の介護支援専門員であり、その実践を踏まえて講義を行っている。	○	○	○	◎	○
高齢者福祉論Ⅰ	坂田 千賀子	2	科目担当者は、国立長寿医療研究センターにおける実践現場に対する研修担当などの実践を踏まえて講義を行っている。	○	○	○	◎	○
高齢者福祉論Ⅱ	野口 典子	2	科目担当者は複数の自治体において介護保険事業計画、高齢者保健福祉計画、地域福祉計画立案に携わりつつ、それらの実践を踏まえて講義を行っている。権利擁護のNPOとの関わりを生かして講義している。	○	○	○	◎	○
ソーシャルワーク論Ⅰ	坂田 千賀子	2	科目担当者は、高齢者福祉領域に関わる実践にも携わりながら、それらの経験を踏まえて講義を行っている。	○		○	◎	○
ソーシャルワーク論Ⅱ	伊藤 葉子	2	科目担当者は、NPO等における電話相談、支援活動にも携わりながら、それらの経験を踏まえて講義を行っている。	○		○	◎	○
ソーシャルワーク論Ⅲ	坂田 千賀子	2	科目担当者は、高齢者福祉領域を中心とした福祉実践現場職員に対するスーパービジョン実践にも携わりながら、それらの経験を踏まえて講義を行っている。	○		○	◎	○
現代社会と福祉Ⅱ	中島 洋	2	科目担当者は、元児童福祉施設職員であった経験を含めつつ、広く社会福祉現場に関わる本講義科目を行っている。	○			◎	

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧

【スポーツ科学部 スポーツ教育学科】学部固有 39単位

科目名	教員名	単位数	内容または授業概要
インターンシップⅠ	千葉 直樹	2	インターンシップとは、学生が企業などにおいて実習・研修的な就業体験をする制度のことである。近年の産業構造の激しい変化によって就業実態も大きく異なっており、従来のイメージと現実との乖離や、学生の職業意識の未熟さなどから離職に繋がるケースも増えている。本科目はそういう現状への対応策のひとつとして設定されている。本科目は一定期間以上の就業に関する実習体験を行うもので、そのために本学キャリア支援課が設定する各種プログラム（各種ガイダンスなど）に出席する必要がある。インターンシップ（就業体験）後は、報告書及び参加証明書を提出し、科目担当教員の審査を受けなければならない。
インターンシップⅡ	千葉 直樹	2	インターンシップとは、学生が企業などにおいて実習・研修的な就業体験をする制度のことである。近年の産業構造の激しい変化によって就業実態も大きく異なっており、従来のイメージと現実との乖離や、学生の職業意識の未熟さなどから離職に繋がるケースも増えている。本科目はそういう現状への対応策のひとつとして設定されている。本科目は一定期間以上の就業に関する実習体験を行うもので、そのために本学キャリア支援課が設定する各種プログラム（各種ガイダンスなど）に出席する必要がある。インターンシップ（就業体験）後は、報告書及び参加証明書を提出し、科目担当教員の審査を受けなければならない。
海外事例研究	桜井 伸二	2	本学国際センター主催の語学研修プログラムを利用して2～5週間程度の短期留学をする学生を対象とする。帰国後に提出されるレポート、および現地インストラクターと国際センター職員のコメントを参考にして、スポーツ科学部担当教員が単位認定する。（語学力の向上ばかりではなく、さらに訪問国のスポーツ事情などについての知識と実体験を得ることができる。） 国際センター主催の海外短期研修に参加する第一の目的は、語学力の向上であろう。ただし、その経験によって得られるのは、語学力だけではないはずだ。異文化適応力や国際感覚を身につけ、さらに訪問国のスポーツ事情などについての知識と実体験を得ることをも目標とする。
スポーツマネジメント事例研究	菊池 秀夫	2	スポーツビジネスやマネジメントの現場を訪問し、その内容や雰囲気をも観察・学習するのが本授業のねらいである。今日スポーツビジネスは世界的なものとなっているが、中でも米国は最大の市場を構成し、最も先進的とされている。この授業では、スポーツビジネス先進国アメリカ（主にカリフォルニア）において、スポーツ施設、野球などのスポーツチーム、スポーツ用品製造メーカー、流通産業、スポーツエージェント（代理人）やトレーナービジネス等の現場を訪問し、ビジネスの実際や動向について理解を深める。（注意：当該授業の履修には、別途アメリカへの渡航費用等が発生します。この費用やプログラムの詳細については、事前説明会等にて発表されます。）
トレーナー事例研究	倉持 梨恵子	2	メジャーリーグやNFL、サッカー、ゴルフ、陸上などの世界トップレベルのアスリートが訪れるトレーニング施設として知られている「EXOS」において、そこで活躍するトップトレーナーから直接、世界最高峰のトレーニング理論と実践を学習します。 また、ロサンゼルスなどのスポーツ関連施設やスポーツチーム、スポーツエージェントなどを訪問し、米国のスポーツビジネスに関する知識の習得も目指します。 さらに、アスレティックトレーニングの教育現場を訪れ、現地の学生と一緒に授業を受けるプログラムも計画されています。 世界トップレベルで活躍するトレーナーから直接指導を受け、世界最高峰のトレーニング理論やトレーニング環境を体験することにより、①自分が将来目指すトレーナーとしてのキャリアをイメージできるようになる。②トレーナーの世界だけでなく、幅広いスポーツビジネスの専門性と知識を習得する。

健康運動実習 A	矢野 真弓 /土屋 真人 /横井 純子	1	フィットネスクラブでの勤務経験がある教員が、非常勤講師として、健康体づくりの指導者の素養として必要とされるエアロビック・エクササイズの理論及びその指導法の習得を目指す。代表的なエクササイズとして、エアロビックダンス、ジョギング・ウォーキング、水中水泳運動（アクアピクスを含む）の3種目の実技について、指導経験豊富なインストラクターの指導を通じて、個別エクササイズのスキルを高めると共に、エクササイズの指導法を学習する。 健康体づくりの指導者として必要なエアロビックエクササイズの理論および指導法を習得する。
健康運動実習 B	矢野 真弓 /土屋 真人 /横井 純子	1	フィットネスクラブでの勤務経験がある教員が、非常勤講師として、健康体づくりの指導者の素養として必要とされるエアロビック・エクササイズの理論及びその指導法の習得を目指す。代表的なエクササイズとして、エアロビックダンス、ジョギング・ウォーキング、水中水泳運動（アクアピクスを含む）の3種目について、各エクササイズの技能を高めると共に、指導法を学習する。 健康体づくりの指導者として必要なエアロビックエクササイズの理論、およびその指導法を習得する。
スポーツ実技 E（ゴルフ）	原田 琢也	1	ゴルフスクールでの指導経験のある教員が、非常勤講師として、以下の内容を指導する。ゴルフの特色として、プレーヤー同士が身体の接触を伴わず、マナー。エチケットが厳格に守られる点が挙げられる。老若男女問わず誰でも技術に応じてプレーができ、健全な身体を作るためにも適しているといわれている。安全に留意しゴルフ技術を習得し、ゴルフ理論を学習することを目標にする。 ゴルフの歴史、マナー、ルール、合理的なスイング理論を学習し、ショートコースを実際にラウンドできる実力を身につけることを目標にする。
スポーツ医学演習	松本 孝朗 /清水 卓也	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。 〔松本担当〕スポーツ活動の現場では、中高年者の急性心筋梗塞や心室細動は元より、若年のプロスポーツ選手にも、生命に関わるような緊急事態（エマージェンシー）が起こり得る。救命のためには、専門家による救急救命処置とともに、現場での迅速な判断と応急処置が重要となる。 〔清水担当〕筋肉、関節、骨などの運動に関する器官を総称して運動器という。スポーツ活動はこの運動器に対してかなりの負荷を与え、しばしば傷害を生じることもある。この傷害を明らかにするためには運動器の機能を評価することが必要になる。 〔松本担当〕比較的頻度の高い内科的救急疾患の病態の理解と診断的アプローチの基礎を身に付け、対応できるようになる。 〔清水担当〕ミニレクチャにて運動器のスポーツ傷害の概要を把握し、演習で行う評価法のこれらの傷害における位置づけを理解し、応用できるようになる。
スポーツ医学 A	光山 浩人	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。 スポーツなどの身体活動は人の健康維持や疾病からの回復と密接な関係がある。また、一方ではスポーツなどの身体活動が障害や外傷を発生させ、疾病を増悪させる因子となり、時には死に至らしめることさえある。 本講義では、スポーツにおける様々な医学的課題を解説していく。スポーツ傷害の予防のみならず、健康づくりやスポーツパフォーマンスの向上に利する知識を獲得し専門性を高められるよう進めていく。
スポーツ医学 B	光山 浩人	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。 スポーツを行う上での傷害の発生とその対処法を概説する。広範囲に及ぶスポーツ医学の分野を理解するにはスポーツ医学Aに引き続いて受講することが望ましい。

衛生・公衆衛生学 A	渡邊 丈眞	2	<p>医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。</p> <p>衛生学・公衆衛生学は、人々の健康のために役立つ実学的根拠であり、わが国の社会の仕組みが、健康のためにどのように役立っているかを考察します。衛生・公衆衛生学 A では、主に環境・病因と健康とのかかわりについての教養を身につけます。</p>
衛生・公衆衛生学 B	渡邊 丈眞	2	<p>医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。</p> <p>衛生学・公衆衛生学は、人々の健康のために役立つ実学的根拠であり、わが国の社会の仕組みが、健康のためにどのように役立っているかを考察します。衛生・公衆衛生学 B では、主に行動・個体要因と健康とのかかわりについての教養を身につけます。</p>
健康学概論Ⅰ	坂本 龍雄	2	<p>医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。</p> <p>この授業では生活習慣病を中心的にとりあげ、疾病の診断基準とその疫学的エビデンス、疾病の発症や進展の医学的メカニズム、疾病の発症や進展を予防するための生活習慣のあり方、とりわけ運動・スポーツの重要性、疾病の発症や進展にかかわる社会環境的要因と大気・水・土壌などの自然環境的要因について理解を深める。加えて、現代の健康問題に重要な影響を及ぼす科学技術の進歩と社会経済体制の変化について、具体的な事例を紹介しながら検討する。さらに、喘息、食物アレルギー、インフルエンザ、HIV感染症など身近な疾病についても取り上げる。</p>
発育老化論	坂本 龍雄	2	<p>医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。</p> <p>スポーツなどの身体活動は人の健康維持や疾病からの回復と生命が誕生し、成長して円熟期を迎え、やがて老化して死を迎える。このような人間一人ひとりのダイナミックな変化を様々な角度から眺める。人類が将来にわたって繁栄するために解決しなければならない地球規模の環境問題（地球温暖化や水資源の枯渇など）と解決に向けた国際的な取り組みの進展を紹介し、私たち一人ひとりの役割を考える。健全な発育老化のプロセスを支える運動・スポーツ、栄養・食生活、社会や自然環境の役割を考える。医療倫理に関する問題事例を取り上げ、自分の問題として困難解決の方策を考えてみる。</p>
保健科教育法Ⅰ B	小磯 透	2	<p>学校教育における教員経験のある者が、その経験を活かして、中学校・高等学校の保健授業を担当するために必要な学習内容、教授技術、教材研究や授業の進め方などについての知識や技術を解説する。</p>
保健科教育法Ⅱ	小磯 透	2	<p>学校教育における教員経験のある者が、その経験を活かして、中学校・高等学校の保健授業を担当するために必要な学習内容、教授技術、教材研究や授業の進め方などについての知識や技術を解説する。教育実習の直前指導としての意味合いも大きい科目である。教科教育の応用的、発展的科目である。</p>
体育科教育法Ⅰ B	柰子 耕一	2	<p>教育行政機関での勤務経験を活かして、体育科教育に関する専門的な知識や技術とともに、保健体育科教員としての心構えについて指導する。保健体育科の学習指導要領の内容理解を中心として、前半では総論的内容、後半では領域別の各論的内容の解説を行う。</p>
体育科教育法Ⅱ	柰子 耕一 /吉田 文久	2	<p>教育行政機関での勤務経験を活かして、体育教師として必要な基礎を修得して、授業においてさまざまな創意工夫を実践できるような基盤を構築する。前期は教育実習に向けての準備学習、中期はトピックス的な内容、後期は学習指導要領への対応をねらいとした内容で構成される。</p>
体育実技指導法 (ダンス)	和光 理奈	2	<p>学校教育における教員経験のある者が、その経験を活かして、体育教員を目指すにあたり、実技指導場面で必要な指導法を指導する。実際の学校現場で指導する際の重要課題に留意しながら、ダンスにおける自己表現とその指導にはどのような特徴があるかを探求していく。</p>
スポーツ教育学	來田 享子	2	<p>学校教育における教員経験のある者が、その経験を活かして、保健体育科教員に必要なスポーツの社会的機能について解説し、教育的な場面で活用するための実践方法を指導する。</p>

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧

【スポーツ科学部 競技スポーツ科学科】学部固有 35単位

科目名	教員名	単位数	内容または授業概要
インターンシップⅠ	千葉 直樹	2	インターンシップとは、学生が企業などにおいて実習・研修的な就業体験をする制度のことである。近年の産業構造の激しい変化によって就業実態も大きく異なってきており、従来のイメージと現実との乖離や、学生の職業意識の未熟さなどから離職に繋がるケースも増えている。本科目はそういう現状への対応策のひとつとして設定されている。本科目は一定期間以上の就業に関する実習体験を行うもので、そのために本学キャリア支援課が設定する各種プログラム（各種ガイダンスなど）に出席する必要がある。インターンシップ（就業体験）後は、報告書及び参加証明書を提出し、科目担当教員の審査を受けなければならない。
インターンシップⅡ	千葉 直樹	2	インターンシップとは、学生が企業などにおいて実習・研修的な就業体験をする制度のことである。近年の産業構造の激しい変化によって就業実態も大きく異なってきており、従来のイメージと現実との乖離や、学生の職業意識の未熟さなどから離職に繋がるケースも増えている。本科目はそういう現状への対応策のひとつとして設定されている。本科目は一定期間以上の就業に関する実習体験を行うもので、そのために本学キャリア支援課が設定する各種プログラム（各種ガイダンスなど）に出席する必要がある。インターンシップ（就業体験）後は、報告書及び参加証明書を提出し、科目担当教員の審査を受けなければならない。
海外事例研究	桜井 伸二	2	<p>本学国際センター主催の語学研修プログラムを利用して2～5週間程度の短期留学をする学生を対象とする。帰国後に提出されるレポート、および現地インストラクターと国際センター職員のコメントを参考にして、スポーツ科学部担当教員が単位認定する。（語学力の向上ばかりではなく、さらに訪問国のスポーツ事情などについての知識と実体験を得ることができる。）</p> <p>国際センター主催の海外短期研修に参加する第一の目的は、語学力の向上であろう。ただし、その経験によって得られるのは、語学力だけではないはずだ。異文化適応力や国際感覚を身につけ、さらに訪問国のスポーツ事情などについての知識と実体験を得ることも目標とする。</p>
スポーツマネジメント事例研究	菊池 秀夫	2	<p>スポーツビジネスやマネジメントの現場を訪問し、その内容や雰囲気をも観察・学習するのが本授業のねらいである。今日スポーツビジネスは世界的なものとなっているが、中でも米国は最大の市場を構成し、最も先進的とされている。この授業では、スポーツビジネス先進国アメリカ（主にカリフォルニア）において、スポーツ施設、野球などのスポーツチーム、スポーツ用品製造メーカー、流通産業、スポーツエージェント（代理人）やトレーナービジネス等の現場を訪問し、ビジネスの実際や動向について理解を深める。（注意：当該授業の履修には、別途アメリカへの渡航費用等が発生します。この費用やプログラムの詳細については、事前説明会等にて発表されます。）</p>
トレーナー事例研究	倉持 梨恵子	2	<p>メジャーリーグやNFL、サッカー、ゴルフ、陸上などの世界トップレベルのアスリートが訪れるトレーニング施設として知られている「EXOS」において、そこで活躍するトップトレーナーから直接、世界最高峰のトレーニング理論と実践を学習します。</p> <p>また、ロサンゼルスなどのスポーツ関連施設やスポーツチーム、スポーツエージェントなどを訪問し、米国のスポーツビジネスに関する知識の習得も目指します。</p> <p>さらに、アスレティックトレーニングの教育現場を訪れ、現地の学生と一緒に授業を受けるプログラムも計画されています。</p> <p>世界トップレベルで活躍するトレーナーから直接指導を受け、世界最高峰のトレーニング理論やトレーニング環境を体験することにより、①自分が将来目指すトレーナーとしてのキャリアをイメージできるようになる。②トレーナーの世界だけでなく、幅広いスポーツビジネスの専門性と知識を習得する。</p>

健康運動実習 A	矢野 真弓 /土屋 真人 /横井 純子	1	フィットネスクラブでの勤務経験がある教員が、非常勤講師として、健康体力づくりの指導者の素養として必要とされるエアロビック・エクササイズの理論及びその指導法の習得を目指す。代表的なエクササイズとして、エアロビックダンス、ジョギング・ウォーキング、水中水泳運動（アクアビクスを含む）の3種目の実技について、指導経験豊富なインストラクターの指導を通じて、個別エクササイズのスキルを高めると共に、エクササイズの指導法を学習する。健康体力づくりの指導者として必要なエアロビックエクササイズの理論および指導法を習得する。
健康運動実習 B	矢野 真弓 /土屋 真人 /横井 純子	1	フィットネスクラブでの勤務経験がある教員が、非常勤講師として、健康体力づくりの指導者の素養として必要とされるエアロビック・エクササイズの理論及びその指導法の習得を目指す。代表的なエクササイズとして、エアロビックダンス、ジョギング・ウォーキング、水中水泳運動（アクアビクスを含む）の3種目について、各エクササイズの技能を高めると共に、指導法を学習する。健康体力づくりの指導者として必要なエアロビックエクササイズの理論、およびその指導法を習得する。
スポーツ実技 E（ゴルフ）	原田 琢也	1	ゴルフスクールでの指導経験のある教員が、非常勤講師として、以下の内容を指導する。ゴルフの特色として、プレーヤー同士が身体の接触を伴わず、マナー。エチケットが厳格に守られる点が挙げられる。老若男女問わず誰でも技術に応じてプレーができ、健全な身体を作るためにも適しているといわれている。安全に留意しゴルフ技術を習得し、ゴルフ理論を学習することを目標にする。 ゴルフの歴史、マナー、ルール、合理的なスイング理論を学習し、ショートコースを実際にラウンドできる実力を身につけることを目標にする。
スポーツ医学演習	松本 孝朗 /清水 卓也	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。 〔松本担当〕スポーツ活動の現場では、中高年者の急性心筋梗塞や心室細動は元より、若年のプロスポーツ選手にも、生命に関わるような緊急事態（エマージェンシー）が起こり得る。救命のためには、専門家による救急救命処置とともに、現場での迅速な判断と応急処置が重要となる。 〔清水担当〕筋肉、関節、骨などの運動に関する器官を総称して運動器という。スポーツ活動はこの運動器に対してかなりの負荷を与え、しばしば傷害を生じることがある。この傷害を明らかにするためには運動器の機能を評価することが必要になる。 〔松本担当〕比較的頻度の高い内科的救急疾患の病態の理解と診断的アプローチの基礎を身に付け、対応できるようになる。 〔清水担当〕ミニレクチャにて運動器のスポーツ傷害の概要を把握し、演習で行う評価法のこれらの傷害における位置づけを理解し、応用できるようになる。
スポーツ医学 A	光山 浩人	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。 スポーツなどの身体活動は人の健康維持や疾病からの回復と密接な関係がある。また、一方ではスポーツなどの身体活動が障害や外傷を発生させ、疾病を増悪させる因子となり、時には死に至らしめることさえある。 本講義では、スポーツにおける様々な医学的課題を解説していく。スポーツ傷害の予防のみならず、健康づくりやスポーツパフォーマンスの向上に利する知識を獲得し専門性を高められるよう進めていく。
スポーツ医学 B	光山 浩人	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。 スポーツを行う上での傷害の発生とその対処法を概説する。広範囲に及ぶスポーツ医学の分野を理解するにはスポーツ医学Aに引き続いて受講することが望ましい。
衛生・公衆衛生学 A	渡邊 丈眞	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。 衛生学・公衆衛生学は、人々の健康のために役立つ実学的根拠であり、わが国の社会の仕組みが、健康のためにどのように役立っているかを考察します。衛生・公衆衛生学Aでは、主に環境・病因と健康とのかかわりについての教養を身につけます。

衛生・公衆衛生学 B	渡邊 丈眞	2	<p>医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。</p> <p>衛生学・公衆衛生学は、人々の健康のために役立つ実学的根拠であり、わが国の社会の仕組みが、健康のためにどのように役立っているかを考察します。衛生・公衆衛生学 B では、主に行動・個体要因と健康とのかかわりについての教養を身につけます。</p>
健康学概論Ⅰ	坂本 龍雄	2	<p>医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。</p> <p>この授業では生活習慣病を中心的にとりあげ、疾病の診断基準とその疫学的エビデンス、疾病の発症や進展の医学的メカニズム、疾病の発症や進展を予防するための生活習慣のあり方、とりわけ運動・スポーツの重要性、疾病の発症や進展にかかわる社会環境的要因と大気・水・土壌などの自然環境的要因について理解を深める。加えて、現代の健康問題に重要な影響を及ぼす科学技術の進歩と社会経済体制の変化について、具体的な事例を紹介しながら検討する。さらに、喘息、食物アレルギー、インフルエンザ、HIV感染症など身近な疾病についても取り上げる。</p>
発育老化論	坂本 龍雄	2	<p>医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。</p> <p>スポーツなどの身体活動は人の健康維持や疾病からの回復と生命が誕生し、成長して円熟期を迎え、やがて老化して死を迎える。このような人間一人ひとりのダイナミックな変化を様々な角度から眺める。人類が将来にわたって繁栄するために解決しなければならない地球規模の環境問題（地球温暖化や水資源の枯渇など）と解決に向けた国際的な取り組みの進展を紹介し、私たち一人ひとりの役割を考える。健全な発育老化のプロセスを支える運動・スポーツ、栄養・食生活、社会や自然環境の役割を考える。医療倫理に関する問題事例を取り上げ、自分の問題として困難解決の方策を考えてみる。</p>
保健科教育法Ⅰ B	小磯 透	2	<p>学校教育における教員経験のある者が、その経験を活かして、中学校・高等学校の保健授業を担当するために必要な学習内容、教授技術、教材研究や授業の進め方などについての知識や技術を解説する。</p>
保健科教育法Ⅱ	小磯 透	2	<p>学校教育における教員経験のある者が、その経験を活かして、中学校・高等学校の保健授業を担当するために必要な学習内容、教授技術、教材研究や授業の進め方などについての知識や技術を解説する。教育実習の直前指導としての意味合いも大きい科目である。教科教育の応用的、発展的科目である。</p>
体育科教育法Ⅰ B	柰子 耕一	2	<p>教育行政機関での勤務経験を活かして、体育科教育に関する専門的な知識や技術とともに、保健体育科教員としての心構えについて指導する。保健体育科の学習指導要領の内容理解を中心として、前半では総論的内容、後半では領域別の各論的内容の解説を行う。</p>
体育科教育法Ⅱ	柰子 耕一 ／吉田 文久	2	<p>教育行政機関での勤務経験を活かして、体育教師として必要な基礎を修得して、授業においてさまざまな創意工夫を実践できるような基盤を構築する。前期は教育実習に向けての準備学習、中期はトピックス的な内容、後期は学習指導要領への対応をねらいとした内容で構成される。</p>

実務経験のある教員が担当する授業科目一覧

【スポーツ科学部 スポーツ健康科学科】学部固有科目 42単位

科目名	教員名	単位数	内容または授業概要
インターンシップ I	千葉 直樹	2	インターンシップとは、学生が企業などにおいて実習・研修的な就業体験をする制度のことである。近年の産業構造の激しい変化によって就業実態も大きく異なっており、従来のイメージと現実との乖離や、学生の職業意識の未熟さなどから離職に繋がるケースも増えている。本科目はそういう現状への対応策のひとつとして設定されている。本科目は一定期間以上の就業に関する実習体験を行うもので、そのために本学キャリア支援課が設定する各種プログラム（各種ガイダンスなど）に出席する必要がある。インターンシップ（就業体験）後は、報告書及び参加証明書を提出し、科目担当教員の審査を受けなければならない。
インターンシップ II	千葉 直樹	2	インターンシップとは、学生が企業などにおいて実習・研修的な就業体験をする制度のことである。近年の産業構造の激しい変化によって就業実態も大きく異なっており、従来のイメージと現実との乖離や、学生の職業意識の未熟さなどから離職に繋がるケースも増えている。本科目はそういう現状への対応策のひとつとして設定されている。本科目は一定期間以上の就業に関する実習体験を行うもので、そのために本学キャリア支援課が設定する各種プログラム（各種ガイダンスなど）に出席する必要がある。インターンシップ（就業体験）後は、報告書及び参加証明書を提出し、科目担当教員の審査を受けなければならない。
海外事例研究	桜井 伸二	2	本学国際センター主催の語学研修プログラムを利用して2～5週間程度の短期留学をする学生を対象とする。帰国後に提出されるレポート、および現地インストラクターと国際センター職員のコメントを参考にして、スポーツ科学部担当教員が単位認定する。（語学力の向上ばかりではなく、さらに訪問国のスポーツ事情などについての知識と実体験を得ることができる。） 国際センター主催の海外短期研修に参加する第一の目的は、語学力の向上であろう。ただし、その経験によって得られるのは、語学力だけではないはずだ。異文化適応力や国際感覚を身につけ、さらに訪問国のスポーツ事情などについての知識と実体験を得ることも目標とする。
スポーツマネジメント事例研究	菊池 秀夫	2	スポーツビジネスやマネジメントの現場を訪問し、その内容や雰囲気をも観察・学習するのが本授業のねらいである。今日スポーツビジネスは世界的なものとなっているが、中でも米国は最大の市場を構成し、最も先進的とされている。この授業では、スポーツビジネス先進国アメリカ（主にカリフォルニア）において、スポーツ施設、野球などのスポーツチーム、スポーツ用品製造メーカー、流通産業、スポーツエージェント（代理人）やトレーナービジネス等の現場を訪問し、ビジネスの実際や動向について理解を深める。（注意：当該授業の履修には、別途アメリカへの渡航費用等が発生します。この費用やプログラムの詳細については、事前説明会等にて発表されます。）
トレーナー事例研究	倉持 梨恵子	2	メジャーリーグやNFL、サッカー、ゴルフ、陸上などの世界トップレベルのアスリートが訪れるトレーニング施設として知られている「EXOS」において、そこで活躍するトップトレーナーから直接、世界最高峰のトレーニング理論と実践を学習します。 また、ロサンゼルスなどのスポーツ関連施設やスポーツチーム、スポーツエージェントなどを訪問し、米国のスポーツビジネスに関する知識の習得も目指します。 さらに、アスレティックトレーニングの教育現場を訪れ、現地の学生と一緒に授業を受けるプログラムも計画されています。 世界トップレベルで活躍するトレーナーから直接指導を受け、世界最高峰のトレーニング理論やトレーニング環境を体験することにより、①自分が将来目指すトレーナーとしてのキャリアをイメージできるようになる。②トレーナーの世界だけでなく、幅広いスポーツビジネスの専門性と知識を習得する。

労働衛生学 B	大野 豊樹	2	労働基準協会の勤務経験を活かして、「衛生管理者」の役割、実際に事業場の労働衛生水準を高めるための活動の企画・立案及び労働衛生計画の作成・実施・評価・改善に取り組みについて指導する。
労働衛生法規・行政 B	大野 豊樹	2	労働基準協会の勤務経験を活かして、職場における危険有害要因を除去または低減し、労働に起因する健康障害を防止するのみならず、労働者の健康の保持増進を図り、快適職場の形成を図るとする「衛生管理者」の役割を指導する。
健康運動実習 A	矢野 真弓 /土屋 真人 /横井 純子	1	フィットネスクラブでの勤務経験がある教員が、非常勤講師として、健康体づくりの指導者の素養として必要とされるエアロビック・エクササイズの理論及びその指導法の習得を目指す。代表的なエクササイズとして、エアロビックダンス、ジョギング・ウォーキング、水中水泳運動（アクアビクスを含む）の3種目の実技について、指導経験豊富なインストラクターの指導を通じて、個別エクササイズのスキルを高めると共に、エクササイズの指導法を学習する。 健康体づくりの指導者として必要なエアロビックエクササイズの理論および指導法を習得する。
健康運動実習 B	矢野 真弓 /土屋 真人 /横井 純子	1	フィットネスクラブでの勤務経験がある教員が、非常勤講師として、健康体づくりの指導者の素養として必要とされるエアロビック・エクササイズの理論及びその指導法の習得を目指す。代表的なエクササイズとして、エアロビックダンス、ジョギング・ウォーキング、水中水泳運動（アクアビクスを含む）の3種目について、各エクササイズの技能を高めると共に、指導法を学習する。 健康体づくりの指導者として必要なエアロビックエクササイズの理論、およびその指導法を習得する。
スポーツ実技 E (ゴルフ)	原田 琢也	1	ゴルフスクールでの指導経験のある教員が、非常勤講師として、以下の内容を指導する。ゴルフの特色として、プレーヤー同士が身体の接触を伴わず、マナー。エチケットが厳格に守られる点が挙げられる。老若男女問わず誰でも技術に応じてプレーができ、健全な身体を作るためにも適しているといわれている。安全に留意しゴルフ技術を習得し、ゴルフ理論を学習することを目標にする。 ゴルフの歴史、マナー、ルール、合理的なスイング理論を学習し、ショートコースを実際にラウンドできる実力を身につけることを目標にする。
スポーツ医学演習	松本 孝朗 /清水 卓也	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。 〔松本担当〕スポーツ活動の現場では、中高年者の急性心筋梗塞や心室細動は元より、若年のプロスポーツ選手にも、生命に関わるような緊急事態（エマージェンシー）が起こり得る。救命のためには、専門家による救急救命処置とともに、現場での迅速な判断と応急処置が重要となる。 〔清水担当〕筋肉、関節、骨などの運動に関する器官を総称して運動器という。スポーツ活動はこの運動器に対してかなりの負荷を与え、しばしば傷害を生じることがある。この傷害を明らかにするためには運動器の機能を評価することが必要になる。 〔松本担当〕比較的頻度の高い内科的救急疾患の病態の理解と診断的アプローチの基礎を身に付け、対応できるようになる。 〔清水担当〕ミニレクチャにて運動器のスポーツ傷害の概要を把握し、演習で行う評価法のこれらの傷害における位置づけを理解し、応用できるようになる。
スポーツ医学 A	光山 浩人	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。 スポーツなどの身体活動は人の健康維持や疾病からの回復と密接な関係がある。また、一方ではスポーツなどの身体活動が障害や外傷を発生させ、疾病を増悪させる因子となり、時には死に至らしめることさえある。 本講義では、スポーツにおける様々な医学的課題を解説していく。スポーツ傷害の予防のみならず、健康づくりやスポーツパフォーマンスの向上に利する知識を獲得し専門性を高められるよう進めていく。

スポーツ医学 B	光山 浩人	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。 スポーツを行う上での傷害の発生とその対処法を概説する。広範囲に及ぶスポーツ医学の分野を理解するにはスポーツ医学Aに引き続いて受講することが望ましい。
衛生・公衆衛生学 A	渡邊 丈眞	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。 衛生学・公衆衛生学は、人々の健康のために役立つ実学的根拠であり、わが国の社会の仕組みが、健康のためにどのように役立っているかを考察します。衛生・公衆衛生学Aでは、主に環境・病因と健康とのかかわりについての教養を身につけます。
衛生・公衆衛生学 B	渡邊 丈眞	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。 衛生学・公衆衛生学は、人々の健康のために役立つ実学的根拠であり、わが国の社会の仕組みが、健康のためにどのように役立っているかを考察します。衛生・公衆衛生学Bでは、主に行動・個体要因と健康とのかかわりについての教養を身につけます。
健康学概論Ⅰ	坂本 龍雄	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。 この授業では生活習慣病を中心的にとりあげ、疾病の診断基準とその疫学的エビデンス、疾病の発症や進展の医学的メカニズム、疾病の発症や進展を予防するための生活習慣のあり方、とりわけ運動・スポーツの重要性、疾病の発症や進展にかかわる社会環境的要因と大気・水・土壌などの自然環境的要因について理解を深める。加えて、現代の健康問題に重要な影響を及ぼす科学技術の進歩と社会経済体制の変化について、具体的な事例を紹介しながら検討する。さらに、喘息、食物アレルギー、インフルエンザ、HIV感染症など身近な疾病についても取り上げる。
発育老化論	坂本 龍雄	2	医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。 スポーツなどの身体活動は人の健康維持や疾病からの回復と生命が誕生し、成長して円熟期を迎え、やがて老化して死を迎える。このような人間一人ひとりのダイナミックな変化を様々な角度から眺める。人類が将来にわたって繁栄するために解決しなければならない地球規模の環境問題（地球温暖化や水資源の枯渇など）と解決に向けた国際的な取り組みの進展を紹介し、私たち一人ひとりの役割を考える。健全な発育老化のプロセスを支える運動・スポーツ、栄養・食生活、社会や自然環境の役割を考える。医療倫理に関する問題事例を取り上げ、自分の問題として困難解決の方策を考えてみる。
保健科教育法Ⅰ B	小磯 透	2	学校教育における教員経験のある者が、その経験を活かして、中学校・高等学校の保健授業を担当するために必要な学習内容、教授技術、教材研究や授業の進め方などについての知識や技術を解説する。
保健科教育法Ⅱ	小磯 透	2	学校教育における教員経験のある者が、その経験を活かして、中学校・高等学校の保健授業を担当するために必要な学習内容、教授技術、教材研究や授業の進め方などについての知識や技術を解説する。教育実習の直前指導としての意味合いも大きい科目である。教科教育の応用的、発展的科目である。
体育科教育法Ⅰ B	柰子 耕一	2	教育行政機関での勤務経験を活かして、体育科教育に関する専門的な知識や技術とともに、保健体育科教員としての心構えについて指導する。保健体育科の学習指導要領の内容理解を中心として、前半では総論的内容、後半では領域別の各論的内容の解説を行う。
体育科教育法Ⅱ	柰子 耕一 ／吉田 文久	2	教育行政機関での勤務経験を活かして、体育教師として必要な基礎を修得して、授業においてさまざまな創意工夫を実践できるような基盤を構築する。前期は教育実習に向けての準備学習、中期はトピックス的な内容、後期は学習指導要領への対応をねらいとした内容で構成される。

健康運動実習 C	土屋 真人	1	<p>フィットネスクラブでの勤務経験がある教員が、非常勤講師として、健康づくりのための運動プログラムへの習熟と共に、体力水準や健康状態等の異なる人にも対応できるための指導法を学習する。特に、水中運動では、水中ウォーキングや腰痛などのリラクゼーションなどの健康運動指導法などを学習する。</p>
スポーツ医学 C	清水 卓也	2	<p>医師業務に携わった経験を持つ教員が担当する科目である。 トレーナーとして活動するために必要な、スポーツ傷害に関する比較的高度な知識を習得することを目的とする。日本体育協会発行の「アスレティックトレーナー専門科目テキスト第3巻「スポーツ外傷・障害の基礎知識」に基づき、日本スポーツ協会の「アスレティックトレーナー資格獲得に必要なスポーツ傷害に関する内容」である。テキストに基づき、理解を助けるための画像を用いつつ解説をおこなう。</p>